



一般社団法人 東京都測量設計業協会

東測協2026

東測協2026

特集 測るエキスパート “未来東京”

一般社団法人 東京都測量設計業協会

一般社団法人 東京都測量設計業協会



全測連『グループ保険共済制度』

POINT
1

会員（※）だけが加入できる業界独自の相互扶助制度です

※会員とは、「会員およびその会員企業の役員、従業員と事務局役職員」を指します。

POINT
2

団体独自のスケールメリットを活かした制度内容です

POINT
3

4つの保障（補償）制度は業務上、業務外を問わず24時間保障（補償）です

※A型は掛金会社負担で従業員の福利厚生制度として、B型は掛金個人負担で個人の上乗せ保障（補償）として

POINT
4

『傷害共済制度』と『リビングリスク補償』には「熱中症補償特約」「食中毒補償特約」「天災補償特約」がセットされています

1

万一の時（死亡・高度障害）の安心のために!!
身近な不慮の事故への保障等のために!!

グループ保険共済制度

災害保障特約付子ども特約付
子ども災害保障特約付新・団体定期保険【生命保険】

死亡・高度障害
保険金額（本人） **150万円～2,400万円**

2

病気やケガによる入院保障のために!!

医療保障保険制度

短期入院特約付家族特約付医療保障保険（団体型）【生命保険】

入院給付金日額
（本人） **3口 3,000円
5口 5,000円**

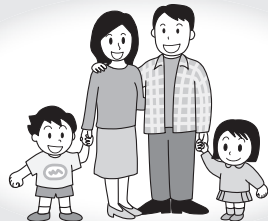
3

身近な不慮の事故への補償のために!!

傷害共済制度

天災補償特約付熱中症補償特約付食中毒補償特約付普通傷害保険【損害保険】
傷害による通院・手術・入院・後遺障害・死亡を補償します

死亡保険金 **100万円～ 290万円**
後遺障害保険金 **4万円～ 290万円**
入院保険金日額 **1,250円～ 3,375円**
手術保険金（状況により） **6,250円～33,750円**
通院保険金日額 **700円～ 2,250円**



4

日常のリスクに備えて!

リビングリスク補償

賠償事故解決に関する特約付賠償責任補償特約付天災補償特約付
熱中症補償特約付食中毒補償特約付普通傷害保険（青年アクティブ型）【損害保険】

死亡保険金 **100万円～ 290万円**
後遺障害保険金 **4万円～ 290万円**
入院保険金日額 **1,250円～ 3,375円**
手術保険金（状況により） **6,250円～33,750円**
通院保険金日額 **700円～ 2,250円**

携行品損害保険金（免責3,000円） **最高10万円**
賠償責任保険金 **最高1億円**
レンタル用品賠償責任保険金（免責3,000円以上） **最高30万円**
キャンセル費用保険金（免責1,000円以上） **最高10万円**
救援者費用等保険金 **最高150万円**

●グループ保険共済制度と医療保障保険制度、傷害共済制度、リビングリスク補償では、お支払いの対象となる支払事由や支払保険金の算出方法、給付割合が異なります。
●それぞれの保障内容、掛金等の詳細はパンフレットをご参照ください。
●制度内容等詳細はパンフレットを参照願います。

お問い合わせ先

<制度内容、お申込みに関するお問い合わせ先>

（事務取扱責任者）一般社団法人東京都測量設計業協会

03-3235-7241

〒162-0801 東京都新宿区山吹町1-1番地1 測量年金会館7F

<その他お問い合わせ先>

明治安田生命保険相互会社 広域組織法人部法人営業第三部

03-6259-0035

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

受付期間 平日（土日・祝日、年末年始を除く）

受付時間 9：00～17：00

（代表契約者）一般社団法人 全国測量設計業協会連合会

MY-A-25-LF-008920 MYG-A-25-LF-783

東測協2026

CONTENTS

■会長挨拶

一般社団法人 東京都測量設計業協会 会長 **本島 哲也** 02

■賀詞

衆議院議員 協会顧問 **高木 けい** 04

参議院議員 協会顧問 **朝日 健太郎** 05

東京都 技監（都市整備局長兼務） **谷崎 馨一** 06

東京都 建設局長 **花井 徹夫** 07

国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課長 **山岸 浩一** 08

国土交通省 関東地方整備局 企画部長 **田中 克直** 09

国土地理院 関東地方測量部長 **石山 信郎** 10

■特集

測るエキスパート“未来東京” 11

未来へつなげる「人」を中心とした働き方改革
株式会社きもと Digital Twin事業部 **矢間陽子** 12

写真の質感を再現する新技術
「3D Gaussian Splatting」の可能性
株式会社きもと Digital Twin事業部 **花田康之** 13

アセットマネジメント手法を用いた施設管理について
アジア航測株式会社 社会インフラマネジメント事業部
まちづくりデザイン部 **高橋 健** 14

測量業への社会的要求に対して 株式会社大輝 **今泉幸弘** 16

「社会を支える『測る』技術を現場で学ぶ
若手社員の測量研修 エアロトヨタ株式会社 **横溝和則** 17

東京都との協定に基づく災害時の応急対策 対応事例 19

■委員会報告

働き方改革特別部会 サイボウズ東京オフィス見学ツアー 22

基準点研究部会 先進的な測量技術と近代測量史跡が集積する東京 26

技術委員会 研修部会のこれまでの活動報告 30

Web講習会報告 31

令和7年 東測協活動報告 33

協会役員・委員会編成 38

会員名簿 40

編集後記 44

新年のご挨拶



一般社団法人 東京都測量設計業協会
会長

本島 哲也 (もとじま・てつや)

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員並びに関係機関の皆様には、平素より当協会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本経済につきましては、物価高騰の影響で個人消費に力強さを欠く面があるものの、全体としては緩やかな回復基調を維持しました。一方で海外情勢の不確実性や社会保障費の増大や人手不足といった「2025年問題」が顕在化するなど予断を許さない状況が続きました。そのような状況の中で、日本列島は全国各地で依然として地震や台風・豪雨など様々な自然災害に見舞われ、防災・減災を含めた国土強靱化の重要性を改めて実感する1年でした。

東京都におきましても台風22号・23号の影響により八丈町ではライフラインの寸断や土砂災害など甚大な被害を受けており、今後予想される首都直下型地震などに対して、当協会は国・東京都との災害協定に基づき、しっかり備えて参ります。

また、昨年発生した埼玉県八潮市の道路陥没事故をはじめ、インフラの老朽化対策も喫緊の課題になっております。我々測量業界は公共物管理のデジタルトランスフォーメーション、デジタルツイン向け三次元レーザ計測・解析、および地理情報システム用データ構築など、先進的な技術を駆使して社会インフラの維持管理に貢献して参ります。

一方、測量設計業界を取り巻く状況は、技術者の高齢化、若手技術者の減少などによる将来の担い手確保の課題を抱えており、より一層の生産性向上の取り組み、働き方改革への対応が求められております。

協会活動といたしましては、会員企業の経営安定化に資するために、国・東京都との意見交換会を通じて、測量技術者単価の更なる上昇と予算拡大、業務における履行期限の更なる平準化などを引き続き要望していきます。また、若手技術者の人材確保・育成を目的とした新技術などの各種研修会の開催や業界のイメージアップのための広報活動などに引き続き取り組んで参ります。

東測協は会員一同、社会的な要請に応えるために技術の研鑽・品質の確保に努めるとともに、首都東京の安全・安心に貢献する協会として、より一層の努力を続けていく所存でございます。東京都を始め諸官庁の皆様には今後とも温かいご指導とご支援を賜りますように、また会員ならびに各種関係団体の皆様には、更なる力強いご支援とご協力のほどお願い申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



衆議院議員
自民党外交部会長
自民党日本成長戦略本部長代理
協会顧問

高木 けい（たかぎ・けい）

新たな年を迎えるにあたって

謹んで新年を寿ぎ、ご祝詞を申し上げます。

平素は、格別のご指導ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

測量設計業は、輝かしい未来を築くために、国土の有効活用や社会資本の整備・環境保全策を推進し、快適な国民生活の実現のための基礎的業務として広く社会全般に寄与されていることに、深甚なる敬意を表します。

高市早苗内閣総理大臣は、「今の暮らしや未来への不安を希望に変え、日本列島を強く豊かにしていく。世界の真ん中で咲き誇る日本外交を展開する。国民の政治への信頼を回復させる改革に全力で取り組む」と所信表明演説をされました。

このたび政府は、21兆3千億円程度の総合経済対策を決め、令和7年度補正予算として臨時国会において審議の上、成立させます。以下、主に3つの柱があり、

- ①生活の安全保障・物価高対策として、一般会計歳出は17兆7千万程度、子供一人当たり2万円を給付し、電気・ガス料金の補助は一般家庭で7千円相当の負担減となります。ガソリン・軽油税の暫定税率の廃止や所得税の課税最低ライン、いわゆる「年収の壁」の引き上げで2兆7千万程度見込んでおり、重点支援地方交付金の更なる追加を行います。
- ②危機管理投資・成長投資として、AI・半導体、造船・宇宙・海洋等、これからのわが国の勝ち筋となる合計17分野に7兆2千億程度の予算を計上しています。
- ③防衛費のGDP比2%を7年度中の前倒しと外交力の

強化に1兆7千億程度を見込んでいます。

この3本の柱による経済押し上げ効果は、実質GDP換算額24兆円、年成長率換算では1.4%程度と見込まれています。（政府試算）

さて、日本は、世界有数の災害大国です。毎年のように全国各地で、地震、津波、台風、線状降水帯による集中豪雨、海岸・河川の堤防の決壊・洪水氾濫、土砂崩れ、及び火山噴火等が発生し、甚大な被害を被っています。

リスクの総点検による災害情報、地籍調査、インフラ整備の実情を踏まえ、迅速かつ円滑に復旧・復興を成し遂げるために、防災・減災・国土強靱化のための施策を拡充・強化しなければなりません。また、持続可能な維持管理を目指す事前防災・予防保全と加速度的に進行するインフラの老朽化対策が不可欠です。

そのため高市総理は、改めて所信表明演説で、国土強靱化の必要性を訴えました。

私はこのたび、衆議院では外務委員会理事・北朝鮮による拉致問題特別委員会理事、国土交通委員、自民党では日本成長戦略本部長代理、選挙対策副委員長、外交部会長等として、難問山積の国政課題に果敢に取り組み、全力を尽くす決意です。

貴協会の顧問として、引き続きお役に立てるよう全身全霊で働きますので、ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京都測量設計業協会の益々のご発展と本島哲也会長を始め会員皆様のご健勝、事業のご隆盛をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



参議院議員
協会顧問

朝日 健太郎（あさひ・けんたろう）

新春のご挨拶

新春を迎え、東京都測量設計業協会並びに会員の皆様に謹んでお慶び申し上げます。平素より、首都東京の都市づくり、社会資本整備、防災対策の最前線でご尽力いただいている皆様に、心より敬意を表します。測量設計業は、国民生活の安全を守る「最上流の仕事」であり、その確かな技術と使命感が、社会を支えていることを改めて強調したいと思います。

昨年、日本初の女性総理として高市早苗総理大臣が誕生し、「決断と前進の内閣」と銘打たれた新政権が発足しました。高市総理が掲げる「責任ある積極財政」は、国土の強靱化、インフラ老朽化対策、地域経済の再生を力強く推し進める政策として、大いに期待されるものです。将来世代への投資を躊躇しない大胆な財政運営は、持続的な成長と国民生活の安定の実現に不可欠であり、その基盤を支えるのが社会資本整備と防災投資です。測量設計業界の皆様が担う業務は、この政策の根幹を支える極めて重要な役割を果たしています。

国政においては、インフラDXの推進、国土強靱化計画の加速、さらには地域における維持管理体制の強化が、これまで以上に重視されています。特にBIM/CIMや三次元データの利活用、ドローン・MMSなどの新技術導入は、現場の効率化と安全性向上に直結するものであり、政府としても関連予算の拡充や技術者育成の支援を積極的に進めています。都市の高度化、気候変動リスクの拡大、複合災害への備えが求められる中で、精度の高い測量・設計とデジタル技術の活用は不

可欠です。

同時に、業界共通の大きな課題である「担い手確保・育成」への対応は、一刻の猶予ありません。先般施行された改正測量法をはじめ、担い手三法の運用強化や技術者単価の適正化が進められているものの、若年層の入職促進や教育環境の充実は、今後さらに強化すべき重要なテーマです。国としても、処遇改善やキャリア形成支援を引き続き進めるとともに、新技術に対応できる次世代型技術者の育成に一層注力してまいります。

こうした取り組みを持続的に進めるためには、事業の最上流を担う貴協会の皆様のお力添えが欠かせません。今後とも東京の都市づくりに、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、私自身、国政を担う立場として、東京の安全・安心の確保、そして日本の未来を切り拓くため、議連やPTの活動はもとより、皆様の専門性がこれまで以上に活かされる環境整備の構築に、一層の責任をもって取り組んでまいります。

結びになりますが、2026年が業界のさらなる発展と技術者の皆様の飛躍の一年となりますこと、そして貴協会並びに会員の皆様のご健勝と事業のご隆盛を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



東京都 技監(都市整備局長兼務)
谷崎 馨一 (たにざき・けいいち)

新年のご挨拶

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人東京都測量設計業協会並びに会員の皆様方には、平素から、測量行政や東京都の地籍調査事業を含む測量事業につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

測量・設計は、言うまでもなく土地の利用や開発・保全にとって基礎的な事業でございます。社会資本整備において、各種事業の経済性向上に必要な情報を提供するだけでなく、社会インフラの維持更新も含めた広範囲における品質を確保する上で、その役割は非常に大きいと考えております。近年、激甚化、頻発化している水害や、切迫する首都直下地震などに対応し、地域の安全や安心を確保し、都民の生命と財産を守っていく観点からも、測量設計業務に精通した技術者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

社会の変化にも対応しながら、都民生活や東京における社会経済活動を支えるとともに、東京の活力を増進させ、世界から選ばれる都市東京を築き上げるため、東京の都市づくりを推進していく必要がございます。

東京都では、昨年3月に、2050年代に目指す東京の姿を実現するため、「2050東京戦略」を策定しました。この中では、頻発化・激甚化する風水害への対策強化、倒れない・助かるまちづくりを推進するとともに気候変動の深刻化を踏まえ「TOKYO強靱化プロジェクト」を強化・アップグレードしていくことを掲げています。

こうしたプロジェクトの着実な推進に向けて、都民や事業者の皆様、区市町村など多様な主体と連携し、ハード・ソフト両面での施策の不断の見直しや強化を図ってまいります。

災害の脅威から都民を守り、世界で最も強靱な都市を実現するうえで、測量設計業務に精通した技術者の皆様の力が益々必要となってまいります。引き続き東京都の事業に対するご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



東京都 建設局長
花井 徹夫 (はない・てつお)

新年のご挨拶

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。一般社団法人東京都測量設計業協会並びに会員の皆様方におかれましては、日頃より東京都建設局の事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は9月中旬に発生した大雨により、5区で記録的短時間大雨情報が発表され、河川氾濫や浸水被害などが発生しました。また、10月には台風により、八丈島で観測史上最大となる24時間降水量や記録的な風速を観測し、八丈島、青ヶ島において、土砂崩れによる道路寸断、断水などのライフラインの不通、建物損壊など甚大な被害が発生しました。首都直下地震の発生も危惧されており、大規模な地震や気候変動による風水害など、災害に対する備えは益々重要となってきております。

東京都では「2050東京戦略」として、地震や風水害などの災害に備え、道路や河川、公園等についてハード・ソフト両面から対策の強化・拡充に取り組んでいます。災害の脅威から都民を守る、世界で最も強靱な都市の実現に向け、取り組みを進めてまいります。

建設局では都市の動脈である幹線道路をはじめ、人に優しい歩行空間、水害から都市を守る河川、潤いや安らぎを創出するとともに防災機能を備えた公園など、

都市基盤の整備を推進しています。

こうした取り組みを持続的に進めるためには、建設業界が物価高騰や時間外労働の上限規制適用など、様々な条件の変化に適応していかなければなりません。そのためには、「働き方改革」や「生産性向上」に係る取り組みを通じ、建設業界を魅力ある職場としていくことが重要です。建設局としても、適正な工期設定や履行期限の平準化、3次元点群データなど新たな技術の活用に取り組み、貴協会や会員の皆様方と連携しながら魅力ある職場の実現を後押ししてまいります。

また、昨年都内では40℃超えを記録するなど、近年は猛暑が頻発しています。現場作業員の健康・安全を確保するためには、職場における熱中症対策の徹底が必要です。建設局では、熱中症対策に関する情報の発信や、間接測量費の中に熱中症対策費用を追加するなどの取り組みを行ってまいりました。今後も現場作業員の安全確保を支援しつつ、事業の推進を図ります。測量は工事の土台となる基礎的な事業です。建設局の取組を持続的に進めるためには、事業の最上流部を担う貴協会の皆様方のお力添えが不可欠です。今後とも東京都の事業へのご支援とご協力をお願いいたしますとともに、貴協会並びに会員の皆様方の益々のご発展を祈念しまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



国土交通省 不動産・建設経済局
建設振興課長

山岸 浩一 (やまぎし・こういち)

新春を迎えて

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人東京都測量設計業協会の皆様には、日頃より国土交通行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

測量設計業は、測量、調査、設計というインフラ整備の「はじまりの仕事」として、重要な役割を担っておられます。また、自然災害が激甚化、頻発化している近年においては、ひとたび災害が発生すれば、被災状況に関する迅速な調査の実施とともに、復旧・復興に向けた測量や設計の業務にもご尽力いただいております。国民の暮らしや経済活動を支え、安全・安心の確保により生命・財産を守るという重要な役割を担っていただいておりますことに、あらためて敬意を表する次第です。

その大切な役割を将来にわたって果たし続けられるよう、「処遇改善」、「働き方改革」、「生産性向上」の取り組みをより一層進めていく必要があります。

処遇改善については、適切な設計業務委託等技術者単価の設定を進め、13年連続での引上げを行い、測量業務においては対前年度比プラス9.3%となったことで、最高値を更新しています。

また、働き方改革が進むよう、昨年改訂した品確法の運用指針に基づき、適正な履行期間での契約締結や、履行期間の平準化を引き続き推進してまいります。生産性向上についても、3次元データなどのICTの活用をはじめとするi-construction2.0の取組もしっかりと推

進してまいります。

測量設計業が今後も持続的に発展していくためには、将来の担い手である若者にとって魅力的な産業となっていくことが重要です。国土交通省では、建設関連業団体の皆様とともに、「建設関連業イメージアップ促進協議会」において、次代を担うことが期待される学生の皆さんを対象に、測量設計業の魅力を発信する広報活動を実施しております。加えて、関係省庁や建設業団体、建設関連の教育訓練機関、教育関係者、建設関連業団体から構成される「若年者入職促進タスクフォース」を開催し、若年者の入職促進に向けて産学官による一体的な活動にも取り組んでおります。今後も引き続き、測量設計業における将来の担い手の確保・育成について、皆様と連携しながら取り組んでまいりたいと考えております。

貴協会は、日々進歩する新技術を取り入れ、既存技術と融合しながら測量の高度化や効率化を図り生産性の向上に努められておりますが、技術者の確保・育成に向けて、引き続き、働き方改革などの取組を進めていただき、測量業界の先駆役を担っていただければ幸いです。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様のさらなる御活躍と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



国土交通省 関東地方整備局
企画部長

田中 克直 (たなか・かつなお)

新年のご挨拶

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。一般社団法人東京都測量設計業協会並びに会員の皆様方におかれましては、日頃より関東地方整備局の事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

建設産業は、「社会資本の整備・管理の担い手」であるとともに、災害時における「地域の守り手」として、国民生活や社会経済を支える極めて重要な役割を担っています。昨年も豪雨などによる災害が発生し、被害の拡大防止と早期復旧のため、迅速な調査や復旧対応が求められました。関東地方整備局では、貴協会との災害応急対策業務に関する協定を基盤に、ドローンや3次元モデルを活用した現場調査など、デジタル技術を駆使した防災・減災対策を強化してまいりました。こうした取り組みは、災害時における測量業界の迅速な対応力と技術力に支えられており、その重要性は年々高まっています。

建設産業がその役割を持続的に果たし続けるため、関東地方整備局では、2025年度に4本の柱として、「受注機会の確保」「担い手確保の取り組み強化」「現場の環境改善・効率化の推進」「自治体等への第三次担い手三法の浸透」を掲げ、さまざまな施策を推進しています。特に喫緊の課題となっている担い手不足に対しては、若手・女性技術者の活躍を評価する仕組みや、ワーク・ライフ・バランス推進企業の評価など、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。こうした取り組みは、

現場の魅力向上と人材確保に直結するものであり、今後も継続的な強化が必要です。さらに、自治体への浸透を図ることで、地域全体で担い手を支える仕組みづくりを目指してまいります。

測量分野は建設事業の最上流に位置し、DX推進の中核を担っています。3次元データの作成・活用は、施工や維持管理の高度化に不可欠であり、災害時の迅速な状況把握や精度の高い設計データの提供は、復旧計画のスピードと質を左右します。こうした技術は、国土交通省が進めるi-Constructionの要素としても位置づけられ、測量業界の役割は今後ますます重要性を増しています。さらに、ドローンや3次元モデルを活用した現場調査は、危険箇所での作業を減らし、安全性を高めるとともに、迅速な情報収集を可能にします。こうした技術革新は、防災・減災対応力の強化に直結しており、測量業界が担う使命は一層大きくなっています。今後もDXの進展により、測量技術は国土強靱化と効率的な社会資本整備を支える基盤として、その価値をさらに高めていくことが期待されます。

貴協会におかれましては、引き続き、技術力の向上、人材育成、経営基盤の強化に積極的に取り組まれ、測量設計業界の更なる発展に大きく貢献されることを期待するとともに、ますますのご発展と、会員各位のご活躍とご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



国土交通省 国土地理院
関東地方測量部長
石山 信郎 (いしやま・のぶろう)

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

一般社団法人東京都測量設計業協会の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は我々国土地理院にとって、数々の重要な進展と変化があった一年となりました。まずは、航空重力測量の結果に基づき、測量成果の標高改定をさせていただいたことは皆様ご承知の事と存じます。これは、令和元年から令和5年の間に実施された航空重力測量の結果に基づいて構築した、精密なジオイドモデルであるジオイドモデル2024を活用し実施したものでした。このジオイドモデル2024より、GNSS測量による標高決定の精度が向上し、各種公共事業や防災対策において信頼性の高い地理空間情報の利用が可能となりました。

また、社会全体のデジタル化を支える基盤として、電子国土基本図の3次元化にも着手しました。これは、これまで2次元の地図データとして整備更新されてきた電子国土基本図に、3次元点群データや数値標高モデル(DEM)等を使用して、高さの情報を付与するものです。令和10年度末までに国土全域の電子国土基本図(地図情報)の3次元化を実施し、順次提供を行う予定です。そして、令和6年6月12日に測量法の一部が改正され、測量資格制度の在り方の継続的な検討が国の責務となりました。改正法の附帯決議では、測量士等を中長

期的に確保するため、就業状況の実態把握を行うとともに、更なる資格制度の改善について検討を進めることが求められました。検討結果の一部は測量法施行令および施行規則の改正に反映され、令和7年4月1日に施行されました。今後、測量業の担い手不足解消を目的として、測量士・測量士補となる資格の在り方について検討を進めてまいります。

近年、測量業界を取り巻く環境は大きく変化しています。人口減少や高齢化の進展、インフラの老朽化、頻発する自然災害など、解決すべき課題が山積しています。しかし、これらの課題は、測量・地理空間情報技術の高度化と活用によって克服できる可能性を秘めています。今後は、3次元点群データや地理空間情報を活用した都市計画、防災対策、インフラメンテナンスなどがますます重要になると考えられます。また、Society 5.0の実現に向けて、測量・地理空間情報技術は、自動運転、スマートシティ、防災・減災など、幅広い分野で活用されることが期待されます。国土地理院は、これらの社会ニーズに応えるため、皆様と共に、測量技術の研鑽、地理空間情報の活用推進、そして次世代を担う人材の育成に力を注いでまいります。

結びになりますが、本年も皆様のご協力を賜りながら、測量設計業の発展、そして安全・安心な社会の実現に貢献できますよう努めてまいり所存です。皆様の益々のご健勝と、業界の更なる発展を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

特集

測るエキスパート 未来東京



未来へつなげる 「人」を中心とした働き方改革

株式会社きもと Digital Twin 事業部
マネージャー 矢間 陽子



「日経Smart Work 大賞2025」表彰式
(代表取締役社長 小林正一)

KIMOTOは、日本経済新聞社主催の「日経Smart Work大賞2025」中堅企業部門賞を受賞いたしました。

本受賞は、働き方改革を通じた持続的な成長企業を称えるものであり、私たちが掲げてきた「人を中心とした改革」が社会から一定の理解と評価を受けた結果だと考えていま

す。製造業という現場中心の環境で「柔軟な働き方」を実現することは容易ではありませんでした。しかし、私たちは100年続く企業を目指すうえで「変えること」と「受け継ぐこと」の両立こそが未来への鍵だと考えました。

働きやすく、働きがいのある環境にするには何を変えるべきか……この問いを起点に改革を一步步進めてきました。

場所と時間に縛られない働き方を推進する仕組みとして、フリーアドレス制を導入し、技術系の業務を担う者を含む約60%の従業員が完全在宅勤務を実施しています。コアタイムのないスーパーフレックス制や理由を問わない短時間勤務制度、さらに3ヶ月単位の勤務時間調整制度を整備し、従業員のライフステージや業務に応じた柔軟な働き方を可能にしました。

制度の整備とともに「人が自ら考え、動く組織」づくりも重点に置きました。勤務地や年齢、国籍を超え

たジョブローテーションやプロジェクト活動を推進し、部門を超えた交流を日常にしています。互いを理解し、学び合うことで、組織の中に「人が育ち、人を育てる循環」が生まれつつあります。

今回の受賞は「多様で柔軟な働き方」と「ワークライフバランス」の両面で高く評価された結果です。それは制度の成果であると同時に、従業員一人ひとりの挑戦と工夫の積み重ねが生んだ実績でもあります。私たちはこれからも工場のDXや人事制度の刷新など、新たな改革を進めていきます。

すべての従業員が能力を発揮し、誇りをもって働ける環境を築くこと。それが、KIMOTOがめざす「人を起点に進化し続ける企業」のかたちです。

なお、「KIMOTOのワークフロー改革」の詳細はこちらのQRコードよりアクセスいただける専用ページにてご確認ください。ぜひ、ご覧ください。



コミュニケーション重視の一環で、年末に東西に分かれ従業員によるリアルな交流会を開催

写真の質感を再現する新技術 「3D Gaussian Splatting」の可能性

株式会社きもと Digital Twin 事業部
データセンターマネージャー 花田 康之

近年、三次元計測の分野では「3D Gaussian Splatting(3DGS)」という新しい表現技術が急速に注目を集めています。3DGSは、従来の点群やメッシュとは異なり、空間を“点”ではなく無数のガウス分布で表現する手法を採用しています。各ガウシアンは位置・形状・色・透明度といった属性を持ち、それらをGPUの高速計算で最適化しながら画面に投影することで、まるでその場で撮影した写真のような質感を持つ3D空間を描画できる点が大きな特徴です。

3DGSは複数の技術の組み合わせによって成立しています。まず基盤となるのが、連続写真や動画からカメラ位置と粗い点群を推定するStructure from Motion (SfM) です。得られたカメラパラメータや点群をCOLMAP形式に変換することで、より精度の高い初期モデルが構築されます。案件によっては、SfMで得た点群に加え、レーザー計測で取得した形状データを組み合わせることで密度や精度を補完することもあります。これにより、写真だけでは捉えづらい細部形状の再現

性が向上します。その後、個々のガウス分布の位置・形状・色・透明度を勾配降下法によって最適化し、GPUの並列計算により数十万～数百万規模のガウスを効率的に学習させます。描画時には「Splatting」と呼ばれる手法によってガウシアンが重なり合い、光のにじみ、布や岩肌の質感、ガラス反射などが自然に表現されます。

当社が展開する「SplatTwin」は、この3DGSを実務で使いやすい形に落とし込んだサービスです。現場状況に応じてドローン、360度カメラ、一眼レフ、レーザースキャナなど複数の撮影機材を使い分け、高品質な3DGSデータを生成します。完成データには距離計測、注釈、PDFや動画リンクなどの付加機能を搭載でき、納品形式もEXEやHTMLなど、発注者が扱いやすい形式に整えることが可能です。

小樽市の「オタモイ地蔵尊」の事例(写真参照)では、断崖という厳しい環境下で空撮・地上撮影・レーザー計測を組み合わせ、取得した点群データを3DGSのベースとして

活用しました。写真ベースの情報だけでは再現が難しい複雑形状をレーザースキャナが補完し、屋外から内部空間までシームレスにつながる高精度な3D表現を実現しています。最終データは700MB程度と軽量でありながら、現地写真とほとんど見分けがつかないほどの再現性を達成しました。さらに、量子化などの圧縮技術を適用すれば、見た目の品質をほぼ維持したまま、これを約10分の1の70MB程度まで軽量化することも可能です。なお、軽量化した3DGSは、右下のQRコードから実際にウェブブラウザでご覧いただけます。

3DGSは軽量で扱いやすく、生成フローも従来のフォトグラメトリに近いため、測定の現場にも比較的導入しやすい技術といえます。インフラ点検や土木構造物の可視化、防災・地域マネジメント、文化財・歴史構造物のアーカイブなど、幅広い分野での活用可能性が見込まれています。特に「写真に近い質感を共有できる」「データを軽量に保ちやすい」といった特徴は、既存の点群やメッシュでは得にくかった価値を補うものと考えられます。技術の成熟とともに、三次元データの扱い方そのものにも新たな選択肢が生まれていくことが期待されます。



3DGSにより、海岸のディテールを高い臨場感で可視化



1 はじめに

ノ・カネを統合的に管理するアセット
マネジメント手法の導入が不可欠で
す。これにより、計画的な維持管理
や更新が可能となり、資産を最大
限に活用しつつ、施設の長寿命化
が図れると期待されます。

メント活動の一部であり、「**アセットマネジメントプロセス：財務計画の策定／サブプロセス：中長期費用予測・算定／詳細プロセス：財務と非財務の一貫性の確保**」に該当します（実務者のためのアセットマネジメントプロセスと成熟度評価：日刊建設通信新聞社，2019年8月発行）より）。

図2 貸借対照表のイメージ

新情報と資産の更新情報が一体的に管理でき、施設・技術データと財務データの関係の可視化が容易となります。そうすることにより、**中期費用の予測・算定にも活用可能**となり、**経営予測の精度向上**が期待できます。

[illegible]

建設後50年以上経過する社会資本の割合

国土交通省

高度経済成長期以降に整備された道路橋、トンネル、河川、上下水道、港湾等について、建設後50年以上経過する施設の割合が加速度的に高くなる。
※施設の老朽化の状況は、建設年度で一律に決まるのではなく、立地環境や維持管理の状況等によって異なるが、ここでは便宜的に建設後50年で整理。

【建設後50年以上経過する社会資本の割合】（2023年3月時点）

色：各施設の総数（総延長）
■ 2023年3月 ■ 2030年3月 ■ 2040年3月

施設種別	2023年3月 (%)	2030年3月 (%)	2040年3月 (%)
道路橋 ^{注1)} (48万2千点) (957,372km ²)	約37%	約54%	約75%
トンネル ^{注1)} (19,772点) (1,677km ²)	約25%	約35%	約52%
河川管理施設 ^{注1+2)} (7,747点)	約22%	約42%	約65%
水道管溝 ^{注3)} (149万2千km)	約9%	約21%	約41%
下水道管渠 ^{注3)} (149万2千km)	約7%	約16%	約34%
港湾施設 ^{注1+3)} (16万7千点)	約27%	約44%	約68%

注1) 建設後50年以上経過する施設の割合については、建設年度不明の施設数を含いて算出。
注2) 国・道、府・県、市・町、村、指定区域、都市計画、河川・港湾、防犯・保安、防災、河川・港湾、その他（ダム、下水道、排水道）、ダム、行政法人水資源機構に規定する特定施設を含む。
注3) 一般事業組合、農協を含む。
注4) 総数には、建設年度不明の施設数を含む。

を占める固定資産(図2)の適切な管理が求められます。

固定資産の管理においては、いくつかの重要なポイントが存在します。中でも特に留意すべき点として、**施設の取得や除却の際の管理手法が挙げられます。**固定資産台帳

4 | おわりに

【事務局より】

高橋様には令和7年度第2回Web講習会で本内容についてご講演を頂きました。

これまでの「測る」「台帳を作る」ことを目的とした測量から、運用を目的とした測る、台帳作成へと移行していく時代における、測量技術者の新たな視点・考え方を示唆するものであり、今回のテーマ「測るエキスパート『未来東京』」趣旨に非常に合致していると感じ寄稿をお願いしました。

『測量業への社会的要求に対して』

株式会社大輝
今泉 幸弘

株式会社大輝は、東京都府中市に住所を置く測量やインフラの点検、道路設計、道路台帳等のシステム開発を業とする企業である。

創業は、昭和47年であり、既に半世紀を経ている。

この株式会社大輝での私の職務は、発注機関へ提出する技術提案書の添削や技術士を目指す若手修習技術者への指導、労働安全衛生法で定められた特別教育の講師等である。

これらの職務の中で、入札前の技術提案書の添削は、直接に受注に結び付くこともあることから特に慎重を要している。

この、昨今の技術提案の要求事項に「適切な工程管理」や「建設現場での混在作業における安全対策」等が多いことに気づく。

この要求の背景には、国土交通省関東地方整備局が推進する「目標宣言プロジェクト」がある。

このプロジェクトの主目的は、迅

速で計画的な首都圏の広域交通ネットワーク整備による「安心・安全で豊かな地域社会の構築」である。

その手法の一つに、建設工事途中での用地測量の発注があり、その意図は、プロジェクト全体の円滑化と完成後の事業効果の迅速な発現にある。

また、国土交通省の代表的な施策である「i-Construction2」は、2040年度までに、建設現場の生産性を1.5倍に向上(3割の省人化)させることを目指している。

上記の様な、社会資本整備における様々な施策により、我々が業とする測量も更なる効率化や生産性の向上が求められるのは明らかである。

また、建設業を代表とする他業種との生産性の向上を目的とした工事現場での協働の機会が急増することも予測できる。

一方、労働安全衛生法施行令で「その他の業種」に分類される我々

測量業の建設現場での協働には、他業種との協働に対応できる柔軟な安全衛生組織の構築や安全衛生活動の在り方等、法令との整合性も見据えた克服すべき多くの課題がある。

その代表的な課題として、統括安全衛生管理の重要性への理解や他業者間の役割・責任の明確化、コミュニケーションの円滑化、相互の理解と尊重、共有の目標設定等々がある。

上記のいずれの課題も、法令を遵守しつつ、前記で示した社会的要求を満足することを目的としていることから、一朝一夕に解決できる容易なものではない。

しかしながら、これらの課題を克服してこそ、我々測量業のさらなる地位向上が図られるものと確信する。

この様な社会情勢により、2026年は、昨年に引き続き、前記の多くの課題を解決・解消するための最適案の模索を継続する年としたい。



「社会を支える『測る』技術を現場で学ぶ 若手社員の測量研修」

エアロトヨタ株式会社
横溝 和則

1 はじめに

エアロトヨタ株式会社(旧社名:朝日航洋株式会社)は、令和7年に創立70周年を迎えました。これまで、航空事業と空間情報事業で長年培った最先端の技術と信頼を基盤に、地理空間情報と空のモビリティを駆使し社会に役立つサービスを提供するため、「空にさがけ未来をひらく」を企業理念として社会の基盤づくりに貢献しています。

その大切な技術を次世代に継承するため、今年度より「測量技能継承室」を開設。若手社員を対象とした実地研修を定期的実施しています。

本稿では、入社1～2年目の若手社員が参加した測量研修の様子を



出発前の記念撮影

通じて、「地形を測る」という仕事の奥深さと、技術継承の現場をご紹介します。

2 安全対策

私たちが測量作業の中で最も大



熊スプレー噴射の様子

切にしていることは「安全に作業をする」ということです。近年、日本では災害級の暑さや連日ニュースで取り上げられている熊の人的被害等、外で行う測量作業の環境下においては様々な危険が潜んでいます。

今回の測量研修では安全に作業をするために「KY活動」「熱中症予防」「熊対策」の3項目について学んでいただきました。カプサイシン入りの熊スプレーの中身が赤く着色されていることもわかり、万が一に備えた貴重な経験となりました。

3 古典測量から最新デジタル計測までの体験

今回の測量研修では測量の基本である「基準点測量」「水準測量」について、実際に測量機材を使っ

た研修を行いました。加えて、現場にあったボールの長さを基準に、目測や計算を駆使して地形を図面化するボール横断測量や最新のハンディレーザ測量にも挑戦しました。

4 おわりに

「測る」技術は今後更に簡単になる



測量作業の様子



かもしれません。原点にある「技術の継承」を適切に行い、真の技術者の育成を通じて安心・安全な社会づくりに貢献していきます。

東京都との協定に基づく災害時の応急対策 対応事例

災害対策特別部会

令和7年台風22号23号（八丈島青ヶ島）

1 はじめに

東測協では、東京都港湾局と「災害時等における設計、測量、地質調査等の応急対策業務に関する細目協定」を平成25年6月25日に締結しています。

令和7年10月9日にかけて八丈島・青ヶ島に接近する台風22号の影響を把握するため、東京都港湾局より令和7年10月8日に本協定に基づいた応急対策の事前要請をされました。

応急対策の対象と委託内容は以下の通りです。

■対象

東京都八丈町及び青ヶ島村

■委託内容

- ①八丈島及び青ヶ島における衛星写真取得
- ②港湾・漁港・海岸施設等の港湾局の管理する施設の被災状況確認と解析

③その他必要な資料作成

2 使用した衛星とデータについて

①ALOS-4（SAR衛星、JAXA）

- ・撮影日：令和7年10月9日（木）12:11
- ・地上解像度：3m
- ・場所：八丈島・青ヶ島

東京都はJAXAの「衛星画像データの利用に係る規約」に基づき衛星画像データを入手可能なため、災害時に緊急観測されたALOS-4のデータを（株）パスコへ貸与する形で解析に利用しました。

②PleiadesNeo（光学衛星、AIRBUS）

- ・撮影日：令和7年10月17日（金）10:43
- ・地上解像度：0.3m

日	時間	内容
10月8日(水)	16:50	非常に強い台風22号(ハーロン)の接近に伴い、東京都の伊豆諸島南部に暴風・波浪特別警報が発表。その後、21時10分に伊豆諸島北部にも拡大。
	19:00	東京都港湾局より東京都測量設計業協会へ衛星画像の解析依頼
10月9日(木)	9:00	(株)パスコで対応する旨を回答
	12:11	JAXAがALOS-4(SAR衛星)にて緊急観測(八丈島・青ヶ島)(株)パスコよりPleiadesNeo(光学衛星)の観測オーダー(八丈島・青ヶ島)
	16:11	JAXAのデータ公開に合わせ、都がALOS-4データを入手開始、順次(株)パスコに貸与
	20:00	都から(株)パスコに全てのALOS-4データの受け渡し完了。解析開始。
	23:30	ALOS-4による港湾施設解析結果を港湾局に送付
10月10日(金)	9:00	都とWeb会議を行い、資料を修正・送付
10月17日(金)	10:43	PleiadesNeo(光学)の観測
	14:00	PleiadesNeoデータを港湾局へ提供(株)パスコでの解析開始
	17:00	PleiadesNeoによる港湾施設および航空障害灯の解析結果(八丈島)を港湾局に送付

・場所：八丈島

10月9日より光学衛星の撮影オーダーを入れていましたが、天候等により地上の視認ができる画像を取得することができませんでした。10月17日（金）の撮影では雲が無く地上の視認ができる画像が取得できたため提供、解析に利用しました。なお、青ヶ島は17日（金）の撮影でも雲のため視認できませんでした。

3 災害対応のタイムライン

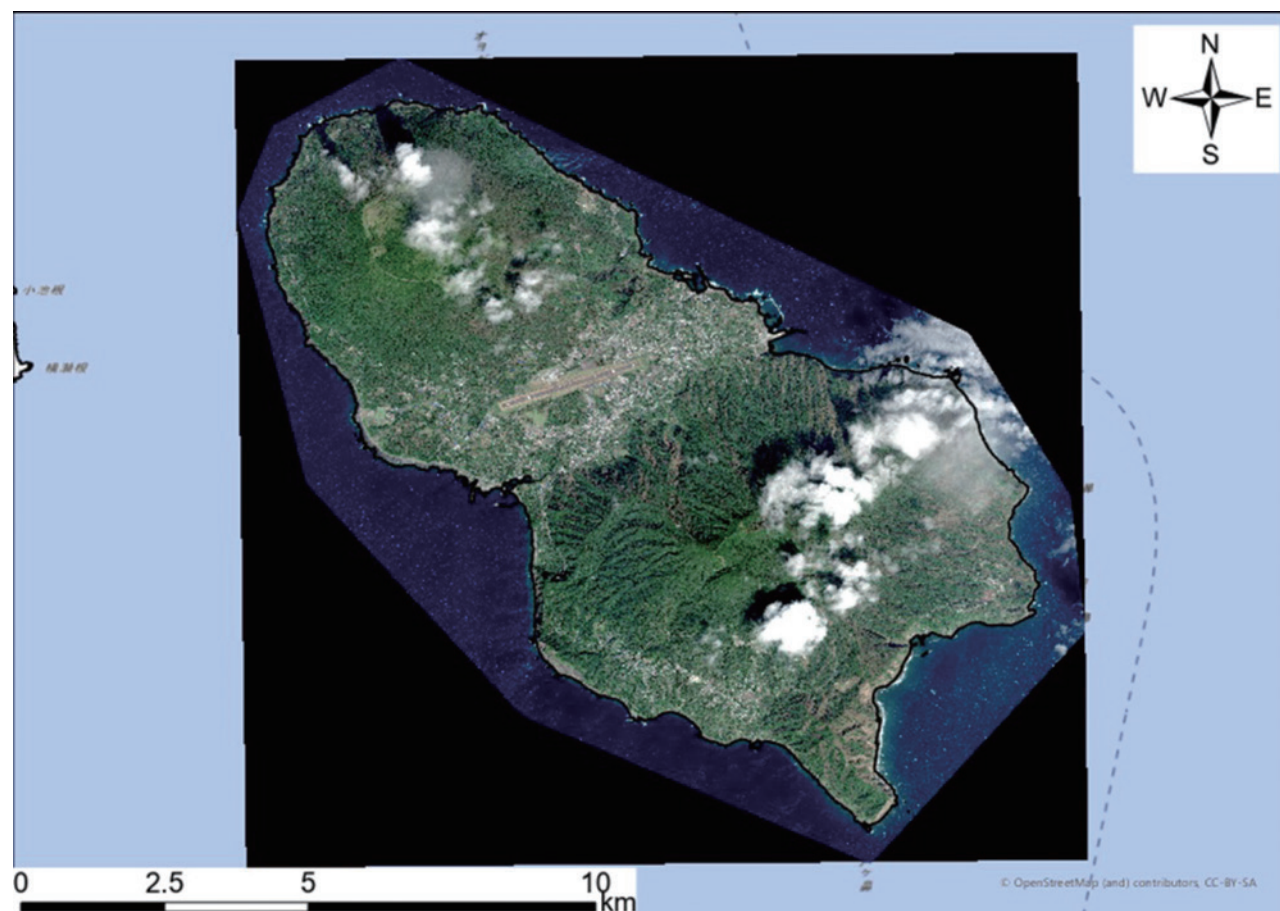
令和7年10月8日に発出された応急対策の事前要請後、前ページの表の通りの時系列で観測画像データの

提供、解析及び報告を行いました。

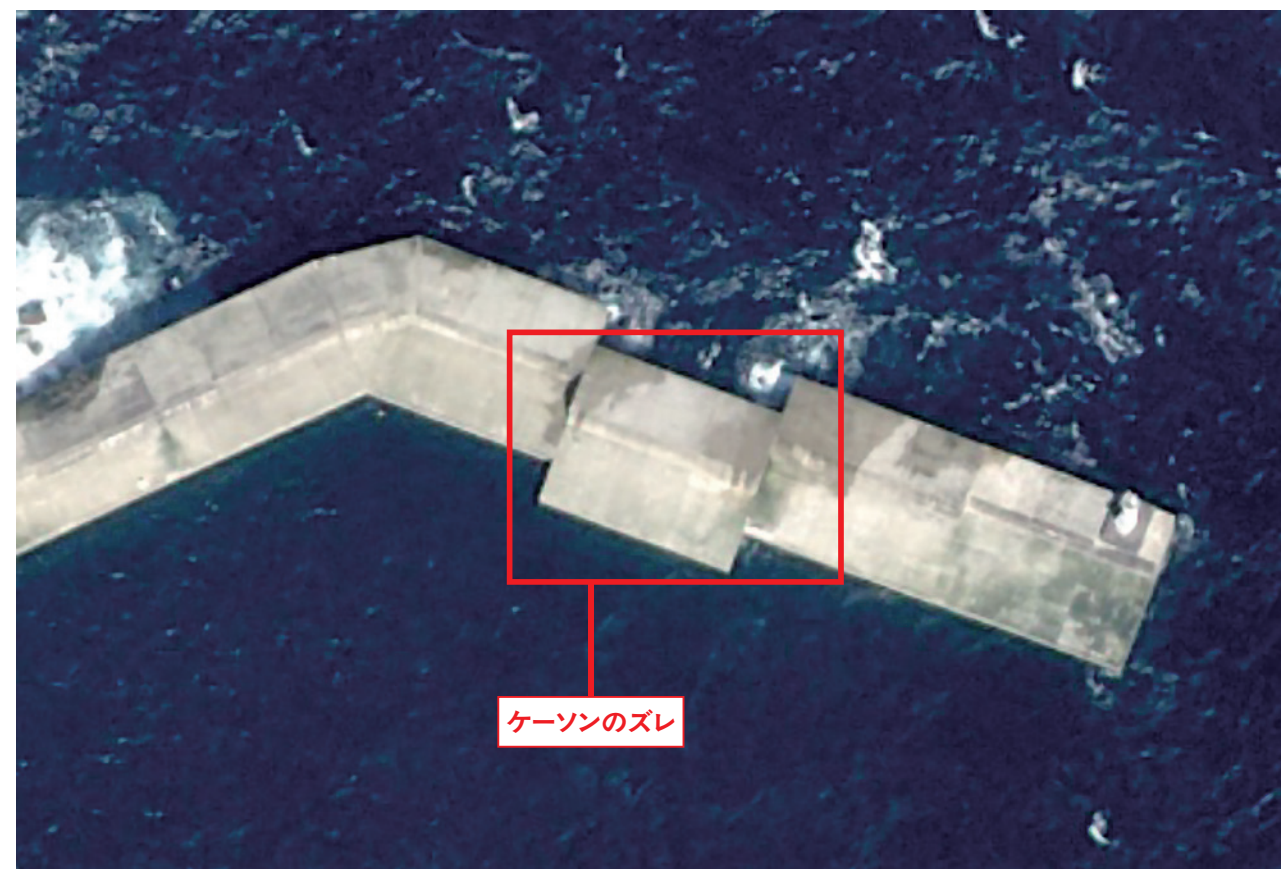
SAR衛星（ALOS-4）による観測撮影は、令和7年10月9日に行われ、画像データは都が入手し、代表社（（株）パスコ）へ貸与して画像解析処理及び被害判読が行われました。

光学衛星（PleiadesNeo）による撮影は、台風22号の被災後も天候不良が1週間継続したため撮影の機会が得られませんでした。天候が回復した令和7年10月17日実施されました。観測撮影後、3時間後に画像データを港湾局へ提供しました。また、解析は3時間程度で終了し、港湾局へ被災状況の報告を行いました。

4 光学衛星画像の取得例



PleiadesNeoの画像（八丈島全域） 令和7年10月17日撮影



PleiadesNeoの画像（港湾施設被害状況） 令和7年10月17日撮影

5 衛星画像以外に提供した情報

- SAR衛星データの解析による港湾施設の被害調査
 - ・ALOS-4画像を利用
 - ・解析処理（コヒーレンス解析、差分干渉SAR解析、強度差分解析）の実施
 - ・港湾施設の被害状況を判読
 - ・解析及び判読作業に3時間程度（八丈島の場合）

SAR衛星画像は、目視による判読が難しいデータであるため、既往データを用いた解析処理が必須となります。解析処理により、高さ方向の変位も検知できることが特徴です。

これらの解析結果を受けて、被災箇所の抽出が行われます。

- 光学衛星データ解析による港湾施設及び航空障害灯の被害調査

- ・PleiadesNeo画像を利用
- ・目視判読により、港湾施設の被害を判読
- ・八丈島の航空障害灯の被害の有無を判読（港湾

局からの追加依頼）

- ・判読作業に3時間程度（八丈島の場合）

光学衛星画像は、目視による判読が標準です。高解像度になるにつれ、小物体の判読や被災状況の判断精度・位置精度が向上します。

令和6年度
東測協
奨励賞

これからの職場 & 多様な働き方を考える

サイボウズ東京オフィス見学ツアー

令 和7年1月に開催された新年会で「東測協奨励賞」の授賞式が行われました。その一環として、令和7年6月3日(火)、先進的な働き方を実践している企業を見学する「パイオニアツアー」を実施しました。
見学先は俳優豊川悦司さんのCMで知られる業務改善プラットフォーム「kintone」(キントーン)を提供している、サイボウズ株式会社の東京日本橋オフィスです。
私たちとは異なる業界ということもあり、参加者のみなさんは、新しい視点の獲得と自身の職場を変えるヒントを得られました。

ツアー参加者

昭和株式会社 三品 孝武さん
日本測地設計株式会社 坂田 大樹さん
真栄測量株式会社 栗田 治幸さん
国際航業株式会社 高橋 暁さん
エアロトヨタ株式会社 関根 由莉さん

【働き方改革特別部会】

木村 義一・関谷 稔・小宅 香里・
福井 伸輔・鈴木 恵美子・田村 尚美



見学先企業「サイボウズ社」での取り組み

従来のチームタイプと これから求められるチームタイプ

- 従来のチームタイプとは、「一体感」が強い「やる気」重視で、レガシー企業に多いタイプ。
- 今、求められるチームタイプとは、ひとりひとりの「個性」を大切にするタイプ。



離職率と生産性の推移

- 2005年当時のサイボウズ社は「超ブラック企業」であり、離職率は28%に達していた。
- 会社存続にかかる「危機感」から「組織変革」がなされ、現在の離職率は5%台になる一方、売上は5倍に成長。

組織変革の取り組み方

- 「会社存続」のため、サイボウズ社が組織変革の基盤に据えた考え方が、「メンバー(ひとりひとり)の幸福」と、成果をあげるための「チームの生産性(向上)」のどちらも諦めないことであった。

「幸福」と「生産性」の両立

「風土」を耕すための 「働き方の多様性」の実現

- 「多様性」を実現するため、1on1(ワンオンワン)で社員ひとりひとりの「要望」を聞き出している。
- ただし、一方的に「要望」を叶えるのではなく、その「要望」に対して、会社として実現可能な条件を提示して、合意形成できる「落としどころ」を探っている(=マッチング)。

マッチング・コミュニケーション

チームワーク向上の3要素の好循環

- 「メンバーの幸福」と「チームの生産性」を両立させる施策が、「制度」「ツール」「風土」の3要素を循環させること。
- 「制度」を整えるだけでは「生産性」は向上しない。「ツール」を利用することによって「生産性」向上が見込める。
- ただし、この「制度」と「ツール」だけでは両立できず、「変わろう」というマインドを醸成する「風土」が必要。



納得感があり、チーム向上を生む コミュニケーションの条件

- 「要望」と「実現性」とのマッチングのコミュニケーションには、情報の提供・共有が必須である。
- 情報の提供・共有のために、会社側が「説明責任」を果たす(=判断軸を示す)ことは当然であるが、従業員側にも「質問責任」が求められる(会議後に文句を言う、飲み会で愚痴をこぼすだけでは、何も変わらず、声としてあげる責任がある)。



この写真は、東京オフィスのエントランスにある「サイボウズ樹パーク」です。大自然が感じられるしつらえで、集いやすい空間が提供されていました。

働き方改革特別部会

は、令和7年11月19日(水)、パイオニアツアー参加者と働き方改革特別部会メンバーが出席し、座談会を開催しました。

働き方改革の先端企業の一つであるサイボウズ社を見学しての感想・気づきや、その後自社ではどのような働き方改革の取り組みを行っているのか、活発な議論が交わされました。

ここでは、ツアー参加者の発言を中心に紹介します。



見学で気づいたこと

- ・スケジュール管理や情報共有が会社として徹底されていること
- ・質問箱の設置やQ&Aの他、マニュアルが利用しやすいよう整備されていることにより、誰でも必要な情報を拾いやすい環境が整っていること

わたしたちの声



全社的なスケジュール管理の難しさ

弊社でも、グループウェアで全社員のスケジュール管理を行なうようになっています。しかし、必要な情報がどこにあるかわかりにくいという課題があります。また、スケジュールの記入について、ルールが浸透していないのも課題だと考えています。

ワークライフバランスの重視
会社が「ワークライフバランスを重視しており、「エンゲージメント調査」を年1回実施しています。結果は公表されていますが、調査結果が改革への取り組みに発展すると良いと考えます。

(昭和株式会社 三品孝武さん)

見学で気づいたこと

社員の8割がテレワークということで、社員同士のコミュニケーションが難しい中、様々な工夫をされて情報共有をされている印象でした。特に「ざっだん」と「質問箱アプリ」は社内で利用したい事例です。

わたしたちの声

対面のコミュニケーションを重視する風土

グループウェアを導入してスケジュールを共有しています。しかし、記入状況には個人差があります。対面でのコミュニケーションを重視する風土があり、テレワークは浸透していません。

世代ごとの多様な働き方の改革

世代間で「育休」に対する考え方に違いがあると感じています。会社では3歳未満のお子さんを養育する社員を対象にテレワークの運用を始めています。社員の年齢構成では、50代、60代が多いこともありお孫さんのために取得する休暇の導入を検討しています。若手からは、他社の事例を紹介しながら働き方改革への理解を促していくのはどうか、という提案もなされています。

(日本測地設計株式会社坂田大樹さん)



見学で気づいたこと

部下の「質問責任」、上司の「説明責任」というなんでも言える環境の中にも、各自責任感を持たせながら、風通しの良い職場環境を作る社風に、感銘を受けました。業種・会社の規模は違いますが、弊社にも落とし込めることもあり、大変充実した見学ツアーになりました。

(真栄測量株式会社栗田浩幸さん・ツアーのみ参加)



見学で気づいたこと

今回のサイボウズ株式会社見学ツアーを通して、働き方改革を進めるには、経営層のトップダウンと現場からのボトムアップ、双方の意見が不可欠であることを強く認識しました。また、単に双方の意見を集めるだけでなく、現場と経営層をつなぐ役割の重要性にも気づきがありました。ライフワークバランスを重視する働き方が主流となっている中で、当社および当業界もこの潮流に乗っていく必要性を強く感じています。

わたしたちの声

若手には上層部に対して緊張を抱くことも

若手との意見交換の場がありますが、若手が上層部に対してふだん感じていることを話すのは、緊張もあってなかなか難しいものがあります。

トップダウンとボトムアップの双方向の橋渡し役が必要です。また、意見交換の場で「何でも話して」とするより、具体的なテーマがあるほうが意見は出しやすいと考えます。

休暇制度は幅広い世代に浸透させる

男性の育休取得は少ないのが実状です。また、働き方改革は育児のみではなく、介護など幅広い年代に対しても目を向ける必要があります。こうした休暇取得者を周囲で支える仕組みも必要でしょう。

(国際航業株式会社高橋暁さん)



見学で気づいたこと

どんなことでもやってできないことはないんだなと感じました。何かを変えようと思ったら並大抵以上の労力が必要ですが、そこに注力し、突破できるかが会社として変革できるかどうかだと思いました。

わたしたちの声

制度の活用を左右する職場文化

育休から復帰する女性管理職は、私が初めてなので、ロールモデルとしての苦勞があります。私は時短制度を利用していますが、上司の考え方によって、各種制度の活用が充分でないケースもあります。

育休取得するも評価が気になる場合も

男性の育休取得者は少数派です。業績評価の基準として、アクションプランを設定し、会社への貢献度を事前に取り決めていきます。しかし、育児休暇を取得することで貢献度が低下し、評価に影響するのではないかと心配する人もいます。

(エアロトヨタ株式会社関根由莉さん)



和8年度から、働き方改革特別部会は、広報委員会に合流します。

政府、経済界では、働き方改革が量的整備から質的充実へ移行しようとしています。これからも、真に働きやすい、魅力ある測量設計業を目指して、活動してまいります。ご期待ください。

座談会参加者(〇印は働き方改革特別部会員)



〇 福井 伸輔

〇 木村 義一(副座長)

坂田 大樹さん

〇 高橋 暁

〇 鈴木 恵美子

三品 孝武さん

〇 田中 善治(座長)

〇 小宅 香里

〇 西野 かおる

〇 田村 尚美

関根 由莉さん

～測量基準点の魅力を発信し続ける～

SURVEY & TOKYO

—先進的な測量技術と近代測量史跡が集積する東京—

基準点研究部会・座長代行 **高岸 且**
(株式会社バスコ)

はじめに

基準点研究部会では、会員内外に向けて測量技術の普及・啓発を目的とし、広報・教育など多角的な手法を通じて情報発信を行いました。これにより、測量技術の社会的意義を広く伝えるとともに、測量業界のプレゼ

ンス向上を図る活動を展開しました。具体的な取り組みとしては、基準点カードの作成・配布や講演会の開催を実施しました。ここではその概要と令和8年度に予定するイベントを報告します。

1 基準点カードの新作発表

基準点カードは測量史跡や電子基準点を紹介する広報ツールです。令和7年度は新作8種を追加し、全74種に拡充しました(図1、図2)。

新作はSNSアンケートで希望が高かった基準点を優先し、電子基準点(南極、富士山)や日本最古の三角点(愛宕山)を選定しました。カードには位置情報、歴史

的背景、測量技術の解説を掲載し、測量事業の普及に大きく貢献するコンテンツとなっています。

これらの基準点カードは、測量年金会館を訪問する方への配布や測量の日のイベント、基準点インフラツーリズムでの配布を行っています。



図1 ▶基準点カード新作8種(2025年6月測量の日にリリース)



図2 ▶基準点カード一覧図(2025年6月更新)



基準点カード・基準点インフラツーリズムの案内はこちら

2025年6月3日
測量の日にリリース
した新作カード

- 日本最古の三角点 愛宕山
- 三等三角点 愛宕山(移設)
- 霊岸島水位観測所
- 几号標石(東京市水準基標)麴町見附内
- 几号高低標 井上達也顕彰碑
- 1級公共基準点 高尾の里拠点施設
- IGS局昭和(昭和基地) ※写真は国土地理院提供
- 電子基準点 富士山 ※写真は国土地理院提供

2 第5回全国基準点フォトコンテスト



図3 ▶第5回全国基準点フォトコンテスト1位
作品タイトル真夜中の四等三角点「新橋」
撮影者:やこ

基準点フォトコンテストは基準点の魅力を写真で発信する企画です。令和7年度は第5回目を開催し、全国から多数の応募がありました。最終投票は「くらしと測量・地図展2025」で実施しました。投票者は757名有効投票数は2,217票でした。

グランプリは「真夜中の四等三角点 新橋」(撮影者:やこ)が受賞されました(図3)。都市の夜景と基準点の存在感を融合した作品です。

コンテストは測量技術者や愛好家の交流の場として定着してきています。今後も継続開催し基準点文化の発信を強化します。

3 基準点研究講演会(技術委員会研修部会との連携)

令和7年度は技術委員会研修部会と連携し、4つの講演を企画しました。

講演は測量技術者の視野を広げる内容で構成しました。各講座は公共インフラ系カード(ダムカード、マンホー

ルカード、基準点カード)の企画や普及に係る話題と令和元年から25,000分の1地図記号に追加された「自然災害伝承碑」の文化や普及など幅広いテーマを扱いました。

「測量技術者のための広報戦略
～ダムカードを事例として～」

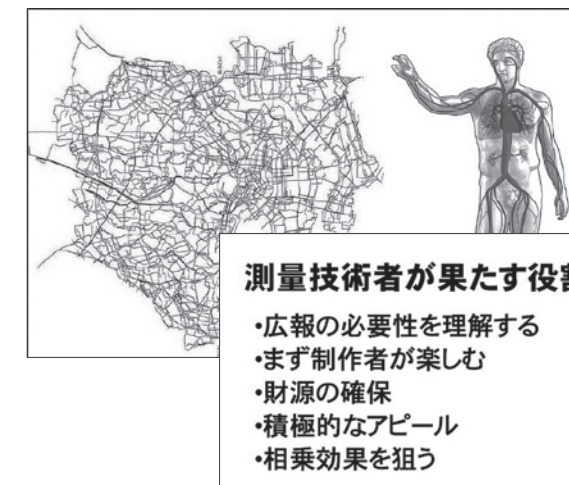
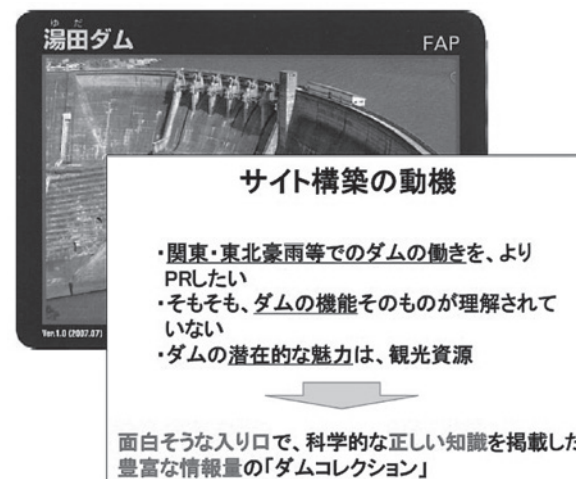
講師:三橋さゆり
(元国土交通省、現日本建設情報総合センター)

ダムカードの成功事例を通じて広報戦略を学びました。

「測量技術者のための
下水道インフラ管理の新たな視点」

講師:白濱公平
(元マンホールカード振興財団)

下水道管理におけるカード活用の可能性を提示しました。



「災害伝承および
自然災害伝承碑とその普及活動」
講師：承山理央
（災害伝承普及協会）
災害伝承碑の意義と防災教育への貢献を紹介しました。



「基準点カードが語る
測量技術の200年とその未来」
講師：高岸且
（株式会社パスコ）
基準点カードを通じて測量技術の歴史と展望を解説しました。



これらの講演は測量技術と社会的価値の融合を考える機会となりました。

4 基準点インフラツーリズム2026

令和8年4月に開催予定

江戸城周辺や日本水準原点を巡る合同研修を企画します。NaviTabiアプリを活用し、ロゲイニング形式で基準点を探索します。参加者には基準点カードを配布し、

CPDポイントも付与します。

技術者の知見やスキルアップだけでなく営業部門や管理部門の社員にも有益となる研修を目指しています。多くの会員企業の社員のご参加をお待ちしております。



2024年4月19日開催（日本水準原点前の集合写真）

基準点を「探す・知る・理解する」体験型プログラム

スマホアプリを使った研修プログラムなので取り組みやすく、基準点の位置や役割を楽しく理解できます。普段あまり意識しない基準点を、実際に探しながら学べます。



図4 ▶NaviTabi「基準点インフラツーリズム」のイメージ



三角点は可能国道15号沿いの歩道の植え込みの中
近くには道路水準点があります
最寄りの新橋駅は、1872(明治5)年に日本初の鉄道(新橋-横浜)が開業の地
汐留口には「機関車の動輪」「鉄道唱歌の碑」サラリーマンの聖地

協力しあい目標を達成するチームビルディング



2024年度 優勝チーム（アジア航測(株)1班）

協力しながら課題を進めることで、日常業務にも活かせる学びがあります。チームワーク向上にもつながります。

日時 ▶ 2026年4月22日(水) 9:00～16:00
代表的な基準点 ▶ 日本水準原点、日本経緯度原点、日本最古の三角点、日本国道路元標、几号高低標(イギリス式水準測量跡)等
使用アプリ ▶ NaviTabi
募集人数 ▶ 100名
CPDポイント対象の研修プログラム



基準点インフラツーリズムの
イベント案内や開催記録はこちら

おわりに

基準点研究部会は測量技術と文化の融合を目指し活動が続けます。カードやフォトコンテスト、講演会、ツーリズムを通じて魅力を発信します。会員の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

■基準点研究部会 活動メンバー（2025年12月現在）

本島哲也(東測協会会長・昭和株式会社)、高岸且(座長代行・株式会社パスコ)、千野敬史(昭和株式会社)、鈴木達士、繁田聡(株式会社URリンクージ)、小溝勝利(国際航業株式会社)、坂口智哉、白戸丈太郎、(アジア航測株式会社)

研修部会のこれまでの活動報告

技術委員会 研修部会 部会長 岡田良司
((株)パスコ)

(一社)東京都測量設計業協会の技術委員会は、空間情報・公共物管理・地籍推進部会の3部会体制で様々な分野から講師を招いて、年に3回～4回の技術講習会を長年開催してきた。令和6年度から専門性の探究と合理化を図り、研修部会と新技術部会の2つの部会として再編成され、研修部会は、「講習会の企画と運営、会員会社の担い手確保への支援」を目的に7名の委員で再出発し、現在に至っています。当部会は、講習会の企画が中心と見られますが、測量作業上の諸問題等の技術的な相談窓口も対応しています。また、作業計画の基礎的な内容の座学、測量機器を用いた実習講座では、当部会の中からも専門知識に優れた講師を派遣しています。

私は、公共物管理部会、研修部会を経て、部会長になって4年目に入りますが、世の中の流れに沿って、技術委員会内の講習会の運営上でも大きな変化がありました。

都内の会員企業様に限定した案内から、全測連を通じて全国の県測協会員様へ案内

全国からの申込みになって、講習会受講者数が大きく増加した。課題解決を担う講義テーマ、Web方式の講習会により、忙しい技術者でも自由な場所と時間で視聴でき、CPDポイントも一定数が得られることが浸透して、現在も多くの申込みをいただき、御礼申し上げます。

受講案内メール配信、受講確認、アンケート集計、受講証明書の自動化(クラウド構築)

アンケート結果のグラフ化、受講証明書およびインボイス制度の領収書発行等の効率化、ミス防止が図られ、講習会事務局の負担が軽減した。

令和7年度を振り返ると、当部会の企画で3回のWeb講習会を開催しており、測量系CPDを17ポイント取得することができました。第1回は、初の試みとして基準点研究部会と合同部会で企画、標高改定(測地成果2024)、電子基準点の進化と過程、3種類のカード(ダム、基準点、マンホール)の紹介と広報戦略の意義、防災と減災のための災害伝承碑等、多様なニーズに応える構成となりました。第2回は、地籍調査の現状と規程類の改定、公共物の監視と適切な維持管理を主なテーマとし、特別講演では、「FIG(国際測量者連盟)の会合に見る諸外国の測量事情」を取上げました。例年、2回目の講習会では、東京都内の自治体職員へ案内しており、令和7年度は53名の申込みがありました。第3回は、測量機器・ソフトを扱っている賛助会員から講師をお招きして、労働力不足とコスト削減を背景とした、即効性のある省力化、作業の効率化に向けた講習テーマを賛助会員のお力添えがあり、実現することができました。

講習会を企画・運用してみて、受講者アンケートを通して、様々なご意見をいただき、毎回、感謝しております。中には実現できないテーマや厳しいご意見もありましたが、自身の研鑽、社内研修や新入社員教育のツールとして利活用できる等、お褒めをいただいた時は、感激と充足感を感じています。

今後、市場を意識した旬な話題、法改正や規程類の改定、AI技術の応用等の事例テーマを盛り込んだ講習会を企画したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

当協会には、技術委員会の中で構成される2つの部会の他に、基準点研究部会、災害対策特別部会、働き方改革特別部会も活動しているので、課題解決の事例紹介をテーマに、相談していきたいと考えています。

Web講習会報告

一般社団法人東京都測量設計業協会
技術委員会

技術委員会では、昨年に引き続き、Web講習会の企画から運営までを行いました。社内研修や新技術情報の取得、CPDポイントの取得などにおいて、時間や場所を選ばず受講できるWeb講習会は高く評価されています。本年度は3回の講習会を実施しました(第3回は編集時点で運用中)。

1 申込者数 ※第3回は12/3時点の申込状況

分類	第1回	第2回	第3回
会 員	425	380	452
県測協	415	376	497
自治体	－	53	－
一 般	17	12	3
合 計	857	821	952

3 講習全体の満足度 ※アンケート回答者数

項目	第1回	第2回	第3回
非常に満足	268	231	12/15より開催
まあ満足	473	436	
どちらでもない	44	61	
やや不満	11	9	
非常に不満	3	0	
合 計	799	737	

2 受講者の関連業務の経験年数 ※アンケート回答者数

経験年数	第1回	第2回	第3回
5年未満	87	72	12/15より開催
5年以上	86	87	
10年以上	147	145	
20年以上	209	171	
30年以上	270	262	
合 計	799	737	



令和7年度 第1回Web講演会

開催日時	動画サイト視聴期間: 2025年5月20日(火)0:00～ 2025年6月10日(火)22:00
会場	オンデマンド配信(Web講習)形式
対象者	測量・設計業務に携わる技術者 及び関係者等
CPDポイント	測量:4ポイント/設計:6ポイント

昨今、公共事業に携わる技術者不足が大変深刻化しております中、当協会においては次世代を担う若手技術者の育成を図るため、測量・設計業界に関わる最新技術の動向や事例紹介など、常に最新測量技術の探求と技術力の向上が図れるよう様々な取り組みを実施しております。国土地理院 関東地方測量部様の基調講演をはじめ、ダム、マンホール、基準点のカードに関するご講演と災害伝承普及協会様からのご講演を頂きました。

【開会挨拶】 (一社)東京都測量設計業協会 技術委員長 臼杵 伸浩

1 【基調講演】標高成果改定について
国土交通省 国土地理院 関東地方測量部 測量課長 針間 栄一郎

2 【特別講演】進化する電子基準点
ーGPS連続観測システム運用開始から30年ー
公益社団法人 全国国土調査協会 検定部長 木村 勲

3 【特別講演】測量技術者のための広報戦略
～ダムカードを事例として～
元国土交通省 水管理・国土保全局水資源部長
一般財団法人 日本建設情報総合センター 審議役 三橋 さゆり

4 測量技術者のための下水道インフラ管理の新たな視点
～マンホールカードの活用事例～
一般財団法人 マンホールカード振興財団 理事 白濱 公平

5 基準点カードが語る測量技術の200年とその未来
株式会社パスコ 東北事業部 技術センター 空間情報部
上級主任技師 高岸 且

6 災害伝承および自然災害伝承碑とその普及活動
一般社団法人 災害伝承普及協会
理事長 承山 理央

令和7年度 第2回Web講演会

開催日時	動画サイト視聴期間： 2025年10月3日(金)0:00～ 2025年10月24日(金)22:00
会場	オンデマンド配信(Web講習)形式
対象者	測量・設計業務に携わる技術者、 自治体職員
CPDポイント	測量:6ポイント/設計:6ポイント

地籍調査および公共物管理に関する最新情報の共有を目的とした講習会を開催しました。国土交通省、東京都建設局、日本測量者連盟、当協会会員企業の専門家を講師に迎え、地籍調査の制度・実務、公共物管理の最新動向、さらに国際的な測量事情などについて、実務に直結した内容でご講演いただきました。

【開会挨拶】 (一社)東京都測量設計業協会 技術委員長 臼杵 伸浩

1 【地籍調査】第7次国土調査事業十箇年計画の状況及び今後の取組について
国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課地籍整備室 企画専門官 新井 雅史

2 【地籍調査】地籍調査作業規程準則と街区境界調査について(一筆地調査)
国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課地籍整備室 整備推進第二係長 高壽 俊秀

3 【地籍調査】地籍調査作業規程準則と街区境界調査について(地籍測量)
国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課地籍整備室 整備推進第一係長 鎌刈 裕紀

4 【公共物管理】道路法と道路台帳
東京都建設局道路管理部 路政課(道路台帳担当) 課長代理 辛島 望

5 【公共物管理】アセットマネジメント手法を取り入れた効果的な施設管理
アジア航測株式会社 行政支援サービス部 副部長 高橋 健

6 【特別講演】FIGの会合に見る諸外国の測量事情(FIG:国際測量者連盟)
日本測量者連盟 幹事 第7分科会担当 海津 優

令和7年度 第3回Web講演会

開催日時	動画サイト視聴期間： 2025年12月15日(月)0:00～ 2026年1月23日(金)22:00
会場	オンデマンド配信(Web講習)形式
対象者	測量・設計業務に携わる技術者
CPDポイント	測量:7ポイント/設計:7ポイント

近年、GNSS、TLS、LiDAR SLAMなどの測量技術は、かつてないスピードで進化を続けています。その変化を的確に捉え、技術を理解し、使いこなすことは、今や測量技術者にとって不可欠な要素となっています。協会賛助会員による最新技術・最新事例を通して、技術革新の流れを掴み、現場で実際に活用するためのヒントを提供しました。

【開会挨拶】 (一社)東京都測量設計業協会 技術委員長 臼杵 伸浩

1 3D計測ソリューションの紹介
アイサンテクノロジー(株) 石原将一

2 GNSSで高さを測る時代の到来
- 標高成果の改定を機に「標高とは何か」を再確認しよう -
(株)ジェノバ 技術顧問 藤原 智

3 TLSを用いた三次元点群合成マニュアル
全自動変位計測が拓く自然災害対策の未来
～Trimble 4D Controlシステム～
(株)ニコン・トリンブル ジオスパーシャル部 岡野 樹 木村 博之

4 いま注目の”LiDAR SLAM”をいかに活用するか
導入事例・実測事例を通して、視えてきたコト
トリンブルパートナーズ関東(株) 小林 正雄
TPホールディングス(株) 有田 啓二

5 最新! LiderSLAM活用術
山下商事(株) システムサポート課 課長 原嶋 賢太郎

6 トレースや点検業務の測量作業を効率化! 3次元点群の革新技術「3D Gaussian Splatting」と「点群と写真の重畳」
福井コンピュータ(株) 測量商品企画室 リーダー 西川 晃
遠隔測量の実力～完結編TS～GNSS～TLS
横浜測器(株) 代表取締役 島津 恵一

令和7年 東測協活動報告

第51回定時総会を開催しました

令和7年5月20日(火)、アルカディア市ヶ谷において第51回定時総会を開催しました。

総会では本島会長の挨拶の後、令和6年度事業報告があり、令和6年度貸借対照表、同正味財産増減計算書及び収支計算書が承認されました。

また、報告事項として、令和7年度事業計画と同収支予算書の説明がなされました。

総会後の講演会では、石山信郎国土地理院関東地方測量部長による【「標高成果の改定」及び「地理空間情報の二次利用促進に関するガイドライン(測量成果等編)」について】と題する講演をしていただきました。

その後、懇親会においては、当協会顧問の高木けい衆議院議員、同じく顧問の朝日健太郎参議院議員、本年7月に予定されている参議院選挙の比例区に建設産業の職域代表として立候補されるご予約のけんざか茂範氏、渡邊良一国土交通省関東地方整備局企画部長、石山信郎国土地理院関東地方測量部長、久野健一郎東京都建設局道路監ほか関係団体、協会関連団体のご来賓をお迎えして、和やかに参加会員と交流を行いました。



令和7年度「くらしと測量・地図展」に参加しました

令和7年6月4日(水)から6日(金)まで、「測量の日」の関連イベントである「くらしと測量・地図展」が、新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて「楽しみながら地図を読み大地を測る～変わりゆく新宿～」をテーマとして開催されました。

当協会は、「3次元点群に触れてみよう」、「距離当てゲーム」、「第5回全国基準点フォトコンテスト」、「基準点カードの配布」、「基準点インフラツールの紹介」等を行いました。また、ミニ講演会では「基準点カードの新作発表～基準点カードが語る測量技術の200年とその未来～」の講演を行いました。昨年を大幅に上回る方に来場いただき、大変盛況でした。参加・運営に当たり当協会会員の皆様にご尽力いただきました。ありがとうございました。



東京都建設局「測量科(2)」の 研修支援を行いました

令和7年7月2日(水)、今年も東京都建設局職員を中心に研修への支援要請があり、協力しました。

67名(建設局32名、他部局23名、外部団体12名)の参加者となりました。

技術委員会の岡田委員、小野委員、本田委員、鶴田委員、太平委員が中心に下記の講義プログラムを実施しました。

【9:30～11:00】

測量の先端技術と最近の話題
(標高成果の改定、最先端のレーザ計測)

【14:00～17:00】

測量作業規程と測量計画(座学)
機器設置方法の説明(動画視聴、デモ)
TSによる測定実習(デモ、実習、解説)
GNSS機による測定実習(動画視聴、デモ、解説)



東京都建設局 「災害対策科」研修に協力しました



令和7年7月31日(木)～8月1日(金)に行われた東京都建設局「災害対策科」研修に協力しました。

災害対策特別部会の久保委員が「災害時の取組み(測量)」と題して7月31日(金)10:25～11:20まで講演を行いました。

オンラインと合わせ、研修生43名が受講されました。

令和7年度会員懇話会が 開催されました



令和7年8月7日(木)、ホテルルポール麹町において会員懇話会が開催されました。懇話会では、本島会長の挨拶の後、関口総務委員長から令和6年度の関係機関に対する要望活動等に関する事業報告と本年5月に実施した「要望活動に資するアンケート調査」の集計結果を踏まえた今年度の取り組みの方向についての説明がありました。続いて、会員様から事前に提出されていた質問と要望事項に対する回答と質疑があり、会員懇話会は終了しました。

懇話会に引き続き行われた懇親会では、本島会長の挨拶の後、松林副会長の音頭により乾杯となり、「グループ保険共済制度」の紹介や、各委員長等による各委

員会・部会の令和7年度の事業計画の説明を交えながら会員相互の交流を図りました。

令和8年度東京都予算に対する 要望活動の実施



令和7年9月3日(水)、当協会は都議会自民党主催の予算要望聴取会において要望活動を実施しました。当協会からは本島会長ほか4名が参加しました。

聴取会で、当協会は、

- 一 公共測量及び地理空間データ整備に関する予算増額
- 二 「スマート東京」の実現に向けた道路空間データ構築と利用環境整備の加速
- 三 「TOKYO強靱化プロジェクト」の実現に資する地籍調査の促進強化
- 四 測量設計業務の発注事務における更なる制度改善について
 1. 測量設計業務における履行期限等の平準化の促進
 2. 測量設計業務にて総合評価落札方式の低入札価格調査の徹底

を要望しました。

都議会自民党からは、増山あすか政務調査会長代行ほか大勢の都議の先生方が出席され、地籍調査について熱心に意見交換がなされました。

第7回「災害対策セミナー in 東京」 を開催いたしました



令和7年9月30日(火)新宿区立角筈区民ホールにおいて、当協会、(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部、(一社)東京都地質調査業協会の共催により、「首都東京における直下型地震等の大規模災害に向けた防災・減災の取り組みについて」をテーマに、第7回「災害対策セミナー in 東京」を開催いたしました。

セミナーでは、後援いただいている東京都を代表して建設局道路監久野健一郎様のご挨拶をいただいた

後、東京理科大学教授塚原良道様による「近年の地震による地盤災害の特徴と対策」と題する基調講演がありました。

続いて、東京都総務局・建設局・港湾局から「東京都における災害時への取り組みについて」のご講演をいただきました。また、共催各団体から、災害時における取り組み等について講演がありました。当日は、東京都や共催3団体会員企業から大勢の参加があり、都、3団体の取り組みについて理解を深めることができました。

令和8年度 国家予算等に対する要望活動を実施

令和7年10月29日(水)、当協会は自民党東京都連の令和8年度国家予算・税制改正等要望聴取会において要望活動を実施しました。当協会からは本島会長ほか5名が参加しました。

聴取会では、

- 1 測量及び地理空間データに関する予算拡大について



- 2 三次元地理空間データの推進について

- 3 大都市圏の地質調査の促進について

以上、3項目について要望を行いました。

自民党都連からは高木けい衆議院議員、朝日健太郎参議院議員の両協会顧問ほか多くの国会議員の先生方が出席され、活発な意見交換が行われました。

令和7年度国土交通省関東地方整備局との意見交換会の実施

令和7年11月17日(月)、全測連東京地区協及び関東地区協は、国土交通省関東地方整備局と意見交換会を実施いたしました。

当協会からは本島会長、関口総務委員長、奥村理事、関東地区協からは千葉会長ほか各県側協の会長、副会長が参加しました。

意見交換会の中では、当協会からは優良業務・優良技術者局長表彰に関する要望を、関東地区協からは県内本店業者のさらなる活用として、地元本店業者への原則発注、熱中症防止に対する経費計上及び工期確保をそれぞれ要望し意見交換したほか、自由討議として、測量技術者単価の継続的上昇と予算拡大等、測量業務を巡る諸課題についても意見交換が行われました。

関東地方整備局からは、田中企画部長ほか担当部署の課長、管理官等が参加されました。



東京都建設局との令和7年度意見交換会の実施

令和7年11月20日(木)、東京都建設局との令和7年度意見交換会を行いました。

都建設局からは山本企画担当部長、小野技術管理課長ほか7名の担当職員の方々、当協会からは本島会長、関口総務委員長、臼杵技術委員長、奥村理事が参加し、以下の事項について要望と意見交換を行いました。

1. 測量業務の発注量の拡大について
 - (1) 測量業務の平準化
 - (2) 設計数量変更に伴う増額及び履行期限の変更
 - (3) 業務内の創意工夫や提案力に対する業務成績評価
2. 熱中症対策
3. 道路現況平面測量業務における仕様書・契約内容の改善について
 - (1) 仕様書の改善
 - (2) 最新技術の積極的な活用
 - (3) 安全対策の明確化



東京都財務局との令和7年度意見交換会の実施

令和7年12月2日(火)、令和7年度東京都財務局との意見交換会を行いました。

都財務局から須藤契約調整担当部長、米倉契約調整技術担当課長、樋渡土木技術担当課長ほか、経理部の6名の職員の方々、当協会からは本島会長、関口総務委員長、田中広報委員長、臼杵技術委員長が参加し、以下の事項について要望と意見交換を行いました。

1. 最低制限価格適用拡大への要望
2. 業務内の創意工夫や提案力に対する業務成績評価
3. 測量業務における履行期限の平準化の促進
4. 測量業務の発注量の拡大
5. 地元企業の受注機会拡大に向けた入札制度の取組促進



協会役員		
------	--	---

顧問	高木 けい 衆議院議員	朝日健太郎 参議院議員
相談役	本島庸介 昭和(株)	岩松俊男 (株)パスコ
会長	本島哲也 昭和(株)	
副会長	松林道博 真栄測量(株)	大西錦城 三和航測(株)
常務理事	関口 徹 (株)パスコ	田中善治 エアロトヨタ(株)
	臼杵伸浩 アジア航測(株)	
理事	加藤 哲 国際航業(株)	峯岸 慎 信和測量(株)
	辻畑直政 (株)日測	木本和伸 (株)きもと
	今村政夫 (株)日野	井原 功 (株)ヤチホ
	奥村秀昭 国際測地(株)	岩松俊男 (株)パスコ
	戸上 学 協会事務局長	
	山本浩二 (株)東邦地形社	野崎茂和 (株)双葉

委員会編成	
-------	--

総務委員会	委員長	関口 徹 (株)パスコ	
	副委員長	加藤 哲 国際航業(株)	峯岸 慎 信和測量(株)
		辻畑 直政 (株)日測	
	委員	富田 英夫 エアロトヨタ(株)	橋場定雄 アジア航測(株)
		佐藤 浩一 (株)八州	

広報委員会	委員長	田中善治 エアロトヨタ(株)	
	副委員長	木本和伸 (株)きもと	今村政夫 (株)日野
	委員	大畑 仁 (株)パスコ	諸橋久男 邦栄測量設計(株)
		渡邊利光 アジア航測(株)	成田昇平 国際航業(株)

技術委員会	委員長	臼杵伸浩 アジア航測(株)	
	副委員長	井原 功 (株)ヤチホ	奥村秀昭 国際測地(株)
		井上昭人 (株)パスコ	
	委員	岡田良司 (株)パスコ	倉田真也 国際測地(株)
		杉森純子 エアロトヨタ(株)	富所三千男 (株)大輝
		本田玲央 (株)本田測量設計	中西泰之 グローバルエンジニア(株)
		小曽戸伸晶 (株)八州	小野博之 国際航業(株)
		鶴田暁大 真栄測量(株)	大平 衛 昭和(株)
		今井 賢 (株)大輝	石本信清 (株)八州
		花田康之 (株)きもと	

基準点 研究部会	座 長	本島哲也 昭和(株)	
	座長代行	高岸 且 (株)パスコ	
		千野敬史 昭和(株)	鈴木達士 (株)URリンケージ
		小溝勝利 国際航業(株)	坂口智哉 アジア航測(株)
		白戸丈太郎 アジア航測(株)	

災害対策 特別部会	部会長	関口 徹 (株)パスコ	
		牧野宗弘 国際測地(株)	井村 龍一 昭和(株)
		久保 学 アジア航測(株)	柿崎啓二 (株)双葉
		大坪和幸 (株)パスコ	秋元克之 日本測地設計(株)
		小田三千夫 国際航業(株)	五十嵐嘉之 三和航測(株)
		西ヶ谷恒生 エアロトヨタ(株)	

働き方改革 特別部会	座 長	田中善治 エアロトヨタ(株)	
	副座長	木村義一 エアロトヨタ(株)	
		駒沢孝敏 (株)八州	小宅香里 アジア航測(株)
		高橋 暁 国際航業(株)	福井伸輔 (株)きもと

会員名簿



▼正会員

会社名 登録番号	会社代表者	会社住所	電話
	協会対応代表者	(協会対応者代表者住所)	FAX
(株)アース設計コンサルタント (4)-30318	田 村 淳	〒197-0005 福生市北田園2-20-10	042-530-1520 042-530-1523
(株)アーバンコンサルタンツサーベイ (1)-36852	伊 藤 昌仁 藤沼祐太郎	〒101-0021 千代田区外神田2-3-7 アーバンファーストビル	03-6821-7511 03-3252-2758
愛和測量設計(株) (11)-9970	永 澤 公雄	〒183-0051 府中市栄町2-10-11	042-368-3351 042-362-5210
(株)アサヒサーペイング (13)-4833	岡 積 智樹 前 嶋 弘	〒182-0035 調布市上石原1-15-15	042-485-6226 042-484-6951
アジア航測(株) (16)-60	畠 山 仁 臼 杵 伸浩	〒160-0023 新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル (〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2新百合21ビル)	044-967-6100 044-953-7270
エアロトヨタ株 (9)-12950	加 藤 浩士 田 中 善治	〒136-0082 江東区新木場4-7-41 (〒350-1165 川越市南台3-14-4)	049-244-6061 049-244-6012
オオバ調査測量(株) (11)-8831	皆 木 信介 梅 田 直俊	〒101-0054 千代田区神田錦町3-7-1	03-4512-1054 03-4512-1059
大部測地設計(株) (10)-11239	大 部 修一	〒158-0096 世田谷区玉川台2-1-16	03-3709-7725 03-3709-7720
上屋敷測量設計(有) (6)-25863	上 屋 敷和志	〒192-0906 八王子市北野町574-4 クレシア北野201号	042-642-1571 042-642-1572
(株)きもと (10)-9025	小 林 正一	〒511-0411 いなべ市北勢町京ヶ野新田450番地 (〒104-0031 中央区京橋1-1-5 セントラルビル2階)	050-3154-9000 03-5480-8121
(株)協振技建 (12)-5636	高 橋 健太郎 村 山 賢持	〒112-0012 文京区大塚3-19-7 KANKYO Bldg.	03-3942-3550 03-3942-3545
(株)協立コンサルタンツ (16)-148	山 口 明	〒146-0093 大田区矢口2-13-6	03-3759-7721 03-3759-7724
グローバルエンジニア(株) (3)-31432	中 西 泰之	〒158-0097 世田谷区用賀1-27-20 用賀山浦ビル3B号室	03-5717-9886 03-3707-3484
榛巧測 (2)-35664	山 下 竜 山 宮 功存	〒198-0105 東京都西多摩郡奥多摩町小丹波156-2	0428-85-2002 0428-85-2080
(株)弘洋第一コンサルタンツ (11)-9729	野 口 桂司 竹田知恵子	〒168-0063 杉並区和泉1-22-19 朝日生命代田橋ビル6階	03-3339-2191 03-3310-9396
(株)興和設計工務事務所 (12)-4877	浦 恒 博	〒130-0025 墨田区千歳1-8-17 島福ビル4階	03-3631-1020 03-3631-1204
国際航業(株) (16)-8	藤 原 協 加 藤 哲	〒169-0074 新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー	03-6362-5931 03-5656-8692
国際測地(株) (10)-8893	奥 村 秀昭	〒191-0065 日野市旭が丘2-5-4	042-584-2610 042-584-3481
国土情報開発(株) (10)-8230	羽 田 寛 薦 木 良巳	〒154-8530 世田谷区池尻2-7-3	03-5481-3000 03-5481-3030
児島測量設計(株) (9)-11481	児 島 幸治	〒187-0025 小平市津田町2-5-6	042-344-1023 042-344-1033
(株)コスモエンジニアリング (8)-18025	座 安 博史	〒134-0084 江戸川区東葛西4-11-12	03-3869-7990 03-3869-7940
(株)さくら (1)-36316	佐 藤 圭介	〒166-0015 杉並区成田東4-36-15-6階	03-5942-7273 03-5942-7274

会社名 登録番号	会社代表者	会社住所	電話
	協会対応代表者	(協会対応者代表者住所)	FAX
桜測量設計(株) (2)-34703	神 山 勝 好 村 郁 子	〒171-0014 豊島区池袋2-30-13 サブコート202	03-6907-3771 03-6907-3772
(株)サンテックインターナショナル (15)-1142	升ノ内元二 柏木修一郎	〒136-0071 江東区亀戸5-8-9	03-5875-5423 03-5875-1732
三和航測(株) (15)-1290	大 西 錦城	〒176-0012 練馬区豊玉北6-15-14 共栄ビル5F	03-3994-7501 03-5999-1031
三和測量設計(株) (15)-1539	内 堀 宗一	〒189-0011 東村山市恩多町1-37-20	042-394-0691 042-396-2259
(株)四門 (9)-11619	實 土 大亮 宮 寺 隼人	〒101-0061 千代田区神田三崎町2-4-1 TUG-Iビル (〒131-0034 墨田区堤通1-19-9 リバーサイド隅田16階)	03-6661-8834 03-6661-8836
昭和(株) (16)-17	本 島 哲也	〒102-0093 千代田区平河町1-7-21	03-5276-8777 03-5276-8787
(株)昭和測量社 (15)-949	野 村 幸一	〒152-0002 目黒区目黒本町6-9-12	03-3714-4544 03-3716-2521
(株)白木測量設計事務所	白 木 英治	〒145-0071 大田区田園調布1-15-12	03-3721-8821 03-3721-8825
真栄測量(株) (9)-14209	松 林 邦晃 松 林 道博	〒136-0076 江東区南砂2-20-3	03-3644-5221 03-3645-0117
新栄測量設計(株) (15)-955	羽 田 慎一 羽 田 勇	〒133-0073 江戸川区鹿骨1-17-8	03-3679-7891 03-3679-7890
(株)森林テクニクス (7)-19115	喜 力 哉 岡 本 有司	〒112-0004 文京区後楽1-7-12	03-5840-8814 03-6807-8557
信和測量(株) (13)-5309	峯 岸 慎	〒105-0004 港区新橋5-4-1	03-3431-2157 03-3437-6070
(有)水工技研 (1)-36559	大阿久紀章 柴 田 龍基	〒165-0021 中野区丸山1-12-8 EFGビル5F	03-5942-5790 03-5942-5791
(株)スタッド (4)-29483	谷 津 克浩	〒191-0061 日野市大坂上1-32-5 エトワール渡辺4F	042-586-9833 042-586-0860
(株)すみれ測量設計事務所 (4)-31217	関 口 恭史	〒135-0004 江東区森下2-20-5	03-5625-2822 03-5625-2823
(株)セリオス 東京支店 (6)-24530	小 室 博志	〒151-0073 渋谷区笹塚1-54-7 KSビルディング7F	03-6383-4736 03-6383-4737
(株)双立測量設計 (9)-12876	金 子 真敏	〒154-0023 世田谷区若林1-18-14郡司ビル3F	03-3413-2596 03-3413-2277
(株)測地コンサルタント (8)-17134	島 田 貢孝 松 井 康雄	〒204-0021 清瀬市元町2-25-12	042-491-6511 042-491-6544
(株)大輝 (13)-4462	竹 村 憲吾 今 井 賢	〒183-0042 府中市武蔵台3-7-8	042-574-2911 042-574-2412
(株)大進測量設計 (1)-37538	小 林 英樹	〒167-0032 杉並区天沼3-12-10 榎本ビル2階	03-3392-0087 03-3392-0099
大同情報技術(株) (15)-1789	山 田 洋	〒166-0012 杉並区和田3-54-5	03-3316-8321 03-3316-5252
大和測量(株) (16)-147	諸 橋 良哉	〒151-0061 渋谷区初台1-8-6	03-3370-1588 03-3379-4457
大和測量設計(株) (16)-3	瀬 川 信也	〒168-0081 杉並区宮前4-26-29	03-3334-3311 03-3334-3374
(株)田辺測量 (16)-879	菅 原 清隆 北 村 理加	〒177-0035 練馬区南田中3-22-8	03-5910-5055 03-5910-5057
中央航業(株) (4)-31868	小 池 盛文 加 藤 知也	〒116-0014 荒川区東日暮里5-51-11	03-5850-3229 03-5850-3171

会社名 登録番号	会社代表者	会社住所	電話
	協会対応代表者	(協会対応者代表者住所)	FAX
(株)ツカサ測量設計 (4)-30120	木村 隆司	〒155-0033 世田谷区代田5-28-4	03-5430-1411
	吉田 宗豊		03-5430-1422
津嶋測量設計(株) (4)-30650	西 濱 克 二	〒130-0004 墨田区本所2-11-3	03-3622-0909
			03-3621-3985
TGK(株) (9)-14483	宮 部 誠	〒160-0022 新宿区新宿1-11-12 岩下ビル7F	03-6679-6718
	富田 康男		03-6457-7215
東京技工(株) (16)-363	林 光 男	〒100-0011 千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル10F	03-3876-5881
	清水 輝之	(〒111-0023 台東区橋場1-18-1)	03-3876-5880
東光測量建設(株) (12)-6539	関根 友一	〒160-0023 新宿区西新宿4-15-22	03-3376-0111
	大森 清孝		03-3376-7517
(株)東邦地形社 (4)-30805	下重 勝雄	〒150-0001 渋谷区神宮前6-19-3 東邦ビル7F	03-3400-1486
	山本 浩二		03-3400-1822
東洋測量(株) (15)-1026	太田 満則	〒115-0055 北区赤羽西4-47-14	03-3909-1166
			03-3909-5738
(株)奈賀里測量設計 (8)-17258	中里 英生	〒198-0043 青梅市千ヶ瀬町4-340-3	0428-24-5540
			0428-24-5713
(株)中庭測量コンサルタント (1)-37019	桑野尚二郎	〒151-0073 渋谷区笹塚2-4-1	03-6424-7540
	一瀬 幹雄	(〒168-0063 杉並区和泉1-22-19 朝日生命代田橋ビル6階)	03-6424-7537
ナチュラル測量設計(株) (12)-7771	山 本 仁	〒183-0051 府中市栄町3-31-33	042-365-9036
	山本 保二		042-366-5900
(株)成住測量事務所 (8)-12942	成住 哲雄	〒112-0001 文京区白山5-11-14	03-3946-0521
			03-3946-5885
(株)日測 (16)-53	辻畑 直政	〒102-0083 千代田区麹町4-3	03-3264-5065
	佐久間宣行		03-3234-9984
(株)日豊 東京支店 (13)-3753	相京 幸一	〒206-0812 稲城市矢野口1319-2	042-378-7011
			042-378-7700
日本測地設計(株) (13)-3611	松崎 明毅	〒169-0075 新宿区高田馬場3-23-6	03-3362-4291
	中畝 由達		03-3362-7656
(株)パスコ (16)-56	高橋 識光	〒153-0064 目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル	03-5435-3580
	関 口 徹		03-5435-3581
(株)八州 (16)-46	大西 孝敬	〒135-0042 江東区木場5-8-40 東京パークサイドビル4階	03-5646-1896
	佐藤 浩一		03-5245-5063
(株)英設計事務所 (10)-9752	町田 光三	〒114-0002 北区王子2-32-7	03-3927-2342
			03-3927-1280
(株)日野 (16)-173	小笠原亜紀子	〒156-0041 世田谷区大原1-36-14	03-3468-2421
	小池 克明		03-3466-3250
(株)福田測量 (7)-19529	高 橋 実	〒158-0083 世田谷区奥沢5-33-11	03-3721-3722
			03-3721-3742
(株)双葉 (16)-29	野崎 雄平	〒171-0031 豊島区目白3-14-8	03-3953-3248
	野崎 茂和		03-3953-5166
双葉航測(株) (12)-4463	佐藤 安彦	〒164-0011 中野区中央3-13-10 ジョイ林402	03-5937-5005
			03-5937-5006
二葉測量設計(株) (13)-4110	関 根 孝	〒155-0032 世田谷区代沢3-7-10	03-3419-5321
			03-3413-2283
邦栄測量設計(株) (7)-21166	諸橋 久男	〒182-0021 調布市調布ヶ丘2-4-15 カルム415 1F	042-481-3991
			042-481-3992
(株)本田測量設計 (10)-10581	本田 玲央	〒179-0074 練馬区春日町5-33-32	03-3998-5666
			03-3998-5694
(株)ミヤジ測量設計 (6)-24846	安田 忠浩	〒176-0021 練馬区貫井3-19-10	03-5848-5972
			03-5848-5970

会社名 登録番号	会社代表者	会社住所	電話
	協会対応代表者	(協会対応者代表者住所)	FAX
むさしの地図(株) (16)-136	岩 永 光 司	〒151-0071 渋谷区本町1-18-8	03-3377-6191
			03-3376-1104
(株)ヤチホ (16)-126	井 原 功	〒162-0845 新宿区市谷本村町3-22	03-3268-3600
			03-3268-3653
山野辺測量(株) (13)-5104	山野辺慶子	〒120-0003 足立区東和5-14-3	03-3605-1271
	田 垣 孝		03-3620-3570
(株)URリンケージ (11)-7031	村上 卓也	〒135-0016 江東区東陽2-4-24 サスセンター	03-6803-6200
			03-6803-6222
(株)ユニオン技術 (10)-10767	岩 崎 裕 幸	〒183-0032 府中市本宿町1-43-12	042-363-5755
			042-361-1957

※会社代表者と協会対応代表者が異なる場合、住所は併記し、電話番号・FAX番号は協会対応代表者の番号を記載した。

▼賛助会員

会社名	会社代表者	会社住所	電話
	協会担当者	(協会担当者住所)	FAX
アイサンテクノロジー(株) 首都圏営業所	谷 口 雄大	〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-2-3 EPIC TOWER SHIN YOKOHAMA 2階A	050-3528-5587 050-3385-2360
(株)アプリコア	石 田 徹	〒185-0014 国分寺市東恋ヶ窪5-11-18	050-5864-0498 0584-83-1079
(株)岩崎 東京支店	岡 祥 史 古 口 弘泰	〒134-0088 江戸川区西葛西6-9-12 西葛西トーセイビル7 階	03-6206-1287 03-6206-1289
(株)エージェンシーソフト	竹内 邦彦 片倉 昌充	〒135-0063 江東区有明3-5-7 TOC有明イーストタワー9F4号	03-6161-6121 03-6555-8684
共立航空撮影(株)	前田 和則	〒181-0015 三鷹市大沢5-21-13	0422-32-4100 0422-32-4090
(株)ジェノバ	戸 上 敏 亀井 直樹	〒101-0041 千代田区神田須田町1-34-4	03-5209-6885 03-5209-6887
トリンブルパートナーズ関東(株)	小林 正雄	千代田区神田須田町1-18 第3神田セントラルビル1F	03-6673-0801 03-6206-8509
(株)ニコン・トリンブル	古 澤 肇 長谷川寛之	〒144-0035 大田区南蒲田2-16-2テクノポート大樹生命ビル	03-5710-2593 03-5710-2604
(株)久永 関東支店	堀 家 淳 哉	〒338-0832 さいたま市桜区西堀3-21-23	050-3820-8930・8931 048-711-1735
福井コンピュータ(株) 関東営業所	中村 充彦 榎本 裕之	〒140-0013 品川区南大井6-16-19大森MHビル8F	0570-039-291 03-6404-8405
明治安田生命保険(相) (広域組織法人部)	津組 哲也 一柳 泰雅	〒100-0005 千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル24階	03-5858-7174 03-6259-0064
明治安田損害保険(株)	梅崎 輝喜 大西 康壽	〒101-0048 千代田区神田司町2-11-1	03-3257-3311
明治安田ライフプランセンター(株)	神 原 猛 赤津 大典	〒171-0033 豊島区高田3-19-10 ヒューリック高田馬場ビル7F	03-5952-1061 03-5952-1063
山下商事(株)	吉田 公二 橋 本 豊	〒151-0061 渋谷区初台2-11-8	03-5350-0671 03-5350-0678
ユニバーサルプリント工芸(株)	大 淵 信之	〒171-0032 豊島区雑司が谷3-9-4	03-3988-3544 03-3988-6683
横浜測器(株)	島 津 恵一	〒232-0025 横浜市南区高砂町2-19-5	045-341-4920 045-341-4921
ライカジオシステムズ(株)	桑 野 裕 士	〒108-0073 港区三田1-4-28 三田国際ビル18F	03-6809-3901 03-6809-3391

編集後記

新しい年を迎え、皆さまに心よりお祝い申し上げます。
2026年が皆さまにとって実り多き一年となりますようお祈りいたします。

本号では、特集記事として「測るエキスパート“未来東京”」と題し、会員企業の取組、当協会災害対策の部会の取組をご紹介します。測量設計業界は、技術革新や社会の変化に対応しながら、より高度なサービスを提供すること、担い手の確保と育成、災害対策では被災状況の把握と復旧・復興支援が求められています。各企業が挑戦する新しい技術や働き方は、業界全体の可能性を広げるものと感じています。皆さまの課題解決の

ヒントとなれば幸いです。

また、協会の各委員会・部会の活動報告も掲載しております。働き方改革特別部会の奨励賞副賞ツアー報告、技術委員会主催の講習会と今後の企画、基準点研究部会のインフラツーリズムのご案内、関係機関との意見交換会など、こうした活動は、会員の皆さまのご協力なくしては成り立ちません。改めて感謝申し上げます。

最後に、この会誌の編集にあたり、多くの方々にご協力いただきましたことに心より御礼申し上げます。皆さまの声を反映し、より充実した誌面づくりを目指してまいります。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



広報委員

委員長	田中 善治	エアロトヨタ(株)
副委員長	木本 和伸	(株)きもと
同	今村 政夫	(株)日野
委員	大畑 仁	(株)パスコ
同	諸橋 久男	邦栄測量設計(株)
同	渡邊 利光	アジア航測(株)
同	成田 昇平	国際航業(株)

東測協2026

発行日 令和8年1月
編集 一般社団法人 東京都測量設計業協会 広報委員会
発行 一般社団法人 東京都測量設計業協会
〒162-0801 東京都新宿区山吹町11番地1 測量年金会館7階
TEL:03-3235-7241 FAX:03-3235-0406
E-mail:tsk@sokuryo.or.jp
ホームページ:https://www.sokuryo.or.jp

会誌バックナンバー



まだ誰も知らない安心を、ともに。

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

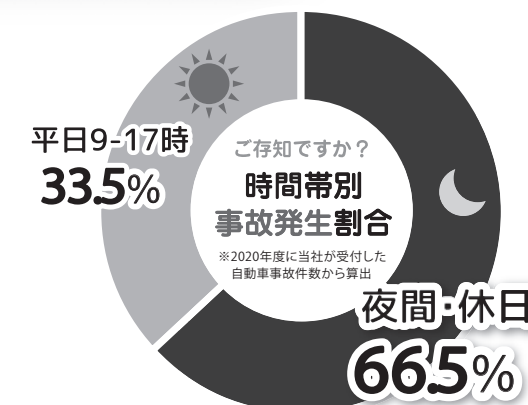
あいおいニッセイ同和損保なら

夜間・休日も事故対応



24時間365日 平日同等の対応

夜間・休日に事故が発生する確率はなんと60%以上。
そこで当社は、夜間・休日でも当社社員が対応する専用のサービスセンターを作りました。これにより、夜間・休日でも平日と変わらない事故対応を実現しました！



夜間・休日でも、こんな対応ができるようになりました！

保険金をお支払いできるか
ばっちり
判断！

お車の損害状況を
確認して
すぐに
修理手配！

事故の相手方との
示談交渉も
しっかり
電話対応！

いつでも、どこでも、お客さまのあらゆるニーズに寄り添います

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

公式HPは
こちらから



測量業務に！ 建造物の点検業務等に！ 現在活躍の
範囲が広がる「ドローン（UAV）」ですが・・・



万が一、事故が発生したら・・・

ご安心ください！

その時の為に「測量業者総合補償制度」を準備してお
ります！

測量業者総合補償制度

- ① 測量士職業賠償責任保険(補償コンサルタント業務担保特約) ② 建設コンサルタント・
地質調査業務賠償責任保険 ③ 土木構造物点検業務賠償責任保険 ④ サイバーリスク
保険 ⑤-1 測量機器(トータルステーション、レーザースキャナー等)損害保険 ⑤-2 深淺
測量機器(マルチビーム、音響・GPS 測深機等)損害保険 ⑤-3 ラジコンボート損害保険 ⑤-4
水中ドローン(ROV)損害保険 ⑥ ドローン(回転翼型(100g以上 150kg未満対応)、固定翼型)総
合保険

業務災害補償制度(経営ダブルアシスト)

労災リスク(現場、事務所内の傷害事故や通勤途上の事故等)に対する「企業防衛」「メンタルヘルス対策」に！
測量共済会では、測量設計業務等を営む会員の皆様の為に、各種共済制度を通じて、福利厚
生のお手伝いをさせていただいております。

お問い合わせ先

測量共済会

Tel:03-5281-3886 Fax:03-5281-3887 URL:www.kyosai.org/

〒162-0801 東京都新宿区山吹町11番地1 測量年金会館8F

『確定給付企業年金(DB)』のご案内

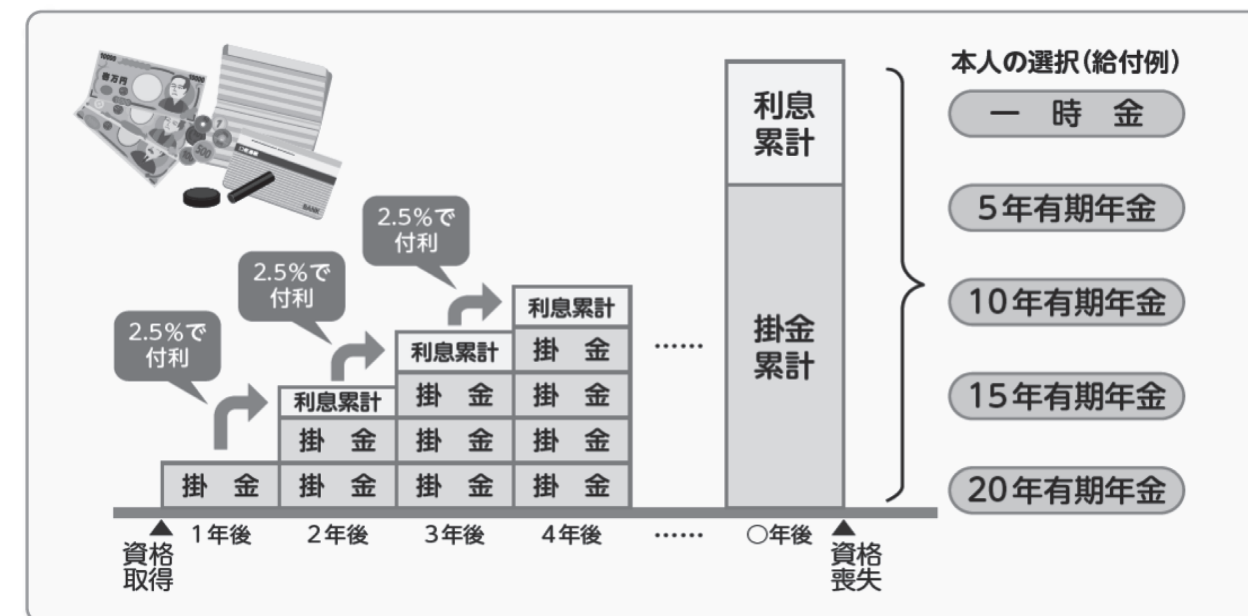
全国の測量協会の会員様にご加入いただいております。

退職金の事前積立／福利厚生への備え

- 老後の支えとなる年金制度で、給付額が約束された「確定給付企業年金」です。
- 事業規模は、事業所数921社、加入者数35,766人、資産規模687億円超(R7年10月末現在)
- 全国有数の大型基金なので、安心してご加入頂けます。

＜制度の仕組みと将来受け取れる年金想定額＞

- ・ 入社されてから、退職又は65歳に到達するまで加入できます。
→ 他の年金制度から当基金へ資産の持ち込み可能(ポータビリティ)
- ・ 掛金は全額事業主負担です。
- ・ 毎年2.5%の利息を付利します。
- ・ 退職時または65歳到達時に、一時金又は有期年金を選択して受給できます。



幅広い福祉事業

結婚・出産・就学・災害・死亡等に対する
慶弔見舞金や、全国の宿泊保養施設の
宿泊補助金等を支給します。

もう一つの年金制度「そくりょうDC」

当基金にご加入の事業所様は、もう1つの企業
年金制度もご利用いただけます。
確定拠出年金制度は、税制面での優遇を受け
ながら「セカンドライフ資金を準備」する制度です。

●モデル給付(一時金又は有期年金)

加入年齢：20歳 平均標準報酬月額：340,000円

◆一時金を選択すると → 60歳で退職 2,826,400円 → 65歳で退職 3,447,500円

◆年金を選択すると	月 額	月 額
●受取期間 5年	50,183円	61,208円
●受取期間 10年	26,642円	32,492円
●受取期間 15年	18,833円	22,967円
●受取期間 20年	14,958円	18,242円

※上記は加入期間・受取期間とも全期間2.5%で推移したものとして試算しています。
※加入期間に応じて、退職時に一時金又は有期年金を選択して受給できます。

どんな小さなことでもお気軽にお問合せください！

そくりょう&デザイン企業年金基金

〒162-8626 東京都新宿区山吹町11番地1
TEL: 03-3235-7211 FAX: 03-3235-7299



<https://www.s-dkikin.or.jp>



ANIST
- アニスト -
ボールド点群テクノロジー
[Balled Point Cloud Technology]

点群から平面図作成

見えなかった
エッジが見える

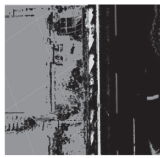
エッジ抽出・白線抽出
アシスト機能

詳細はこちらから



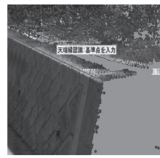
自動化コマンド強化

白線中心認識の調整
自動化コマンドの強化として
白線の断線区間を継続する
よう機能を改善しました。



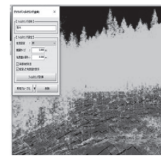
点群編集オプション

上端エッジ認識
自動化コマンドの強化として
上端エッジ認識機能を追加
しました。



グラウンドフィルタリング機能

TIN作成時、樹木下の不要な点群をフィルタ
リングで簡単に除外できます。また、点群の
グループ化、座標変換や合成など、点群編
集に特化した便利な機能を搭載しました。



これまで膨大な手間と時間を
要した作業を驚くほどスムーズにする
大規模点群編集ツール
それが、“WingEarth”です。



大規模三次元点群高速編集ツール



WingEarth

最新バージョンアップ情報

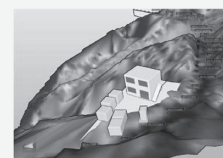
オルソ画像出力の機能強化

イメージスムージング
薄い点群でも、隙間を補完して
スムーズなオルソ画像を作成。



メッシュ位置合わせ機能の強化

メッシュデータの回転・拡大縮小に対応
作成・読み込みしたメッシュデータ
に対して、回転・拡大縮小が可能に。メ
ッシュデータの利用の幅が更に拡大！



WingNeo® INFINITY

あらゆる測量業務をこれひとつで。

最適なコストパフォーマンスで最高の成果を仕上げる「Wingneo®INFINITY」は、
ニーズに合わせて、お客様がカスタマイズできるシステムです。



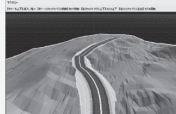

地理院地図Vector活用

地理院地図Vector対応
CADに国土地理院の地理院
地図Vectorの読み込みが可
能になります。重ね図作成な
どに活用可能です。



LandXML計画サーフェスの
モデルビュー表示

計画サーフェスの表示に対応
ユーザーがスライス平面上
に作成した図形を、スライ
ス画像とあわせて出力。



調査報告書への座標写真連携

写真連携で効率的な報告書作成が可能に
CAD貼り付けや点の記で取り扱う座標情報
に関連付けられた写真データを、不動産調査
報告書の作成時にダイレクトに活用できるよ
うになりました。報告書作成のプロセスを効
率化し、作業時間の短縮につながります。





アイサンテクノロジー株式会社
〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番14号 ATビル
測地ソリューション本部 CX推進部
<https://www.aisantec.co.jp/>




アイサンテクノロジーまで
お気軽にお電話ください！
0570-064-457



点群、その先へ。

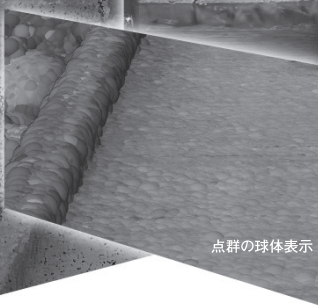
従来の点群表示



点群と写真の重畳表示

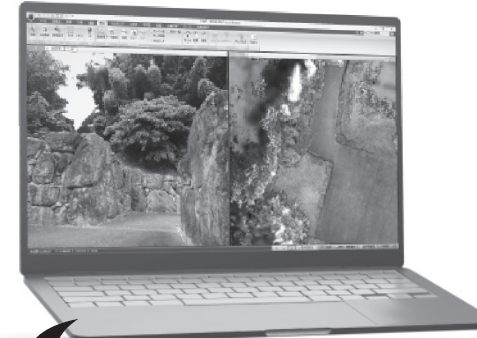


点群の球体表示



写実的な3DGS表示





美しい3DGSを
ダウンロードして体験！

TREND-POINT 

<https://const.fukuicompu.co.jp/products/trendpoint/>

3D点群処理システム【トレンドポイント】



TREND-POINT

Ver.12
新登場！

革新的な3D表示技術で、新たな分野にも。

TREND-POINT Ver.12では、「3D Gaussian Splatting」(3DGS)による写実的な表示、点群と写真の重畳表示、点群の球体表示に対応。建設現場における計画や計測、記録業務の精度向上に加え、維持管理や災害記録、遺跡調査、文化財デジタルアーカイブなど、点群データを視覚的に活用できる新たな分野への提案を推進します。

美しい3DGSを
ダウンロードして体験！

TREND-POINT 

<https://const.fukuicompu.co.jp/products/trendpoint/>



TREND-POINTをお持ちでない方でも点群データの閲覧、計測などが行える表示専用のプログラムを、上記サンプルとセットでダウンロードしていただけます。(点群の編集やデータ出力などは行えません。)

福井コンピュータ株式会社

関東営業所／東京都品川区南大井六丁目16番19号 大森MHビル8F

●製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは

【福井コンピュータグループ総合案内】 **0570-039-291** 

<https://const.fukuicompu.co.jp>

最新測量技術にこだわる企業

横測の遠隔測量

～ 測量の働き方を変える ～

現場側

電子平板

基準点・現況等様々なシーンに対応
TS～GNSS～TLS

会社側

問題解決！ ～ 担い手不足・技術継承・若手育成・技術者再雇用 ～

各測量機器メーカー様也大絶賛！

うちの測量機
でこんなこと
出来るんだあ

各メーカー対応
＊機種により一部対応不可

導入事例1

三宅島

導入事例2

東京都

導入事例3

大分県

全国拡大中！

全国対応 サポート実績全国**110**社以上 47都道府県中**27**都道府県の実績

経産省経営革新等支援機関と連携だから安心

補助金申請サポートのパイオニア

採択率は驚異の**80%** 遠隔測量申請は採択率100%継続中！



マルっと「測NAVI」® 始まります！

※「測NAVI」は横浜測器株式会社の商標登録です

未来を測量する企業をサポート



横浜測器株式会社

TEL : 045-341-4920

URL : <https://www.y-sokki.co.jp>

Email : sk@y-sokki.co.jp



ISO 9001:2015 認証取得



リニアモーター搭載
自動追尾トータルステーション

Trimble S7 VISION

最高回転速度 : 400°/秒以上
追尾旋回速度 : 115°/秒
コントローラー : Android OS

PANASONIC FZ N1

中小企業省力化 投資補助金制度

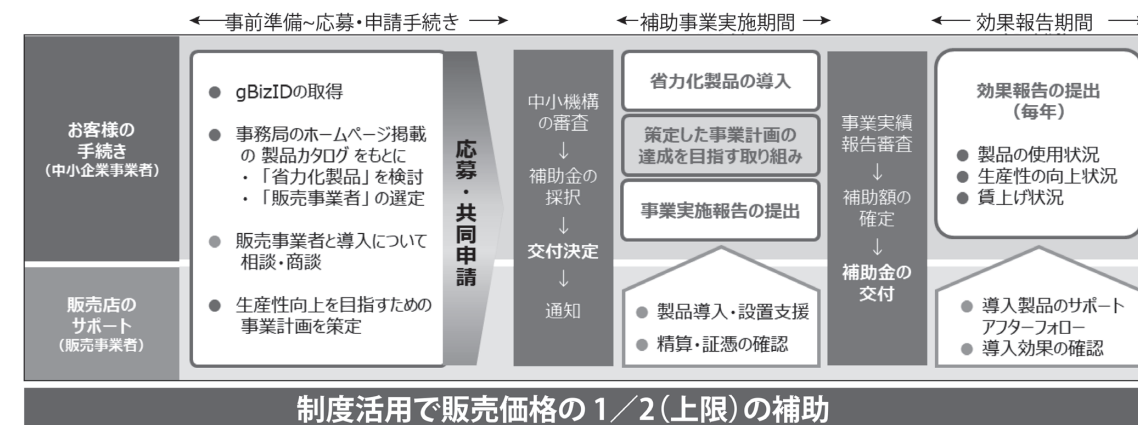
に存知でもか

“人手不足解消”に効果があるロボットやIoTなどの製品を導入するための経費を国が補助することにより、簡易で即効性がある**中小企業の省力化投資**を促進し、**売上拡大や生産性向上**を図るとともに賃上げにつなげることを目的とした補助金です

補助金対象登録済機種



申請から事業完了までの流れ (申請期間: 2026年9月頃まで)



<https://www.tp-kantou.co.jp/>
support@tp-kantou.co.jp
https://www.youtube.com/@TpkantouCoJp_trimble



Trimble ニコン・トリンブル 正規販売代理店
Authorized Distributer

トリンブルパートナーズ関東 株式会社
東京都千代田区神田須田町1-18 第3神田セントラルビル1F
TEL 03-6673-0801

クラウドでのデータ共有で 現場がサクサク！

位置情報で、社会を支える。



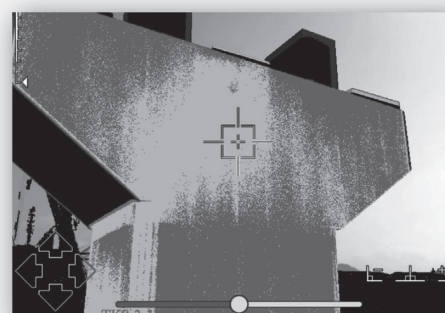
新しいワークフローで建設DXを加速します



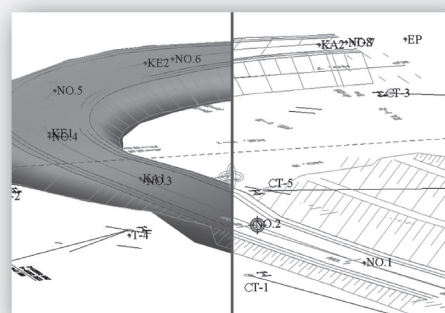
フィールドソフトウェア
Trimble Access



AR 表示



ヒートマップ表示



3D マップ表示
左：面、右：DWG

データの可視化で効率アップ！



ジェノバは高精度測位を実現する
ネットワーク型 RTK データをお届けします。

最新の地殻変動を
考慮した、
高品質リアルタイム
データ配信

国家座標※に
整合する
データ配信
※電子基準点成果座標

仮想点を使った
後処理
データサービス
(PPK方式)

印刷工場併設プリントショップ

あなたのオリジナルをカタチにします

自社工場で 少部数でもリーズナブル 特急OK!

大中ロットオフセット印刷

チラシ・伝票・パンフレット・封筒

オンデマンド小部数プリント

名刺・カード・小部数冊子・シール・表彰状・感謝状

Tシャツetcウェアプリント

Tシャツ・ブルゾン・エコバッグ・ユニフォーム

記念品 ギフトに

オリジナルマグカップ・タオル・コースター



団結力アップにオリジナルグループTシャツ



いんさつ／製本／シール
Tシャツプリント
カンバン／カッティングシート
マーキング／名入れ記念品

Universal
Print
Kogei

ユニバーサルプリント工芸株式会社

〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-9-4 Tel 03(3988)3544 (代)
東京メトロ副都心線雑司が谷駅2番出口徒歩2分 Fax 03(3988)6683
プリントショップ併設 e-mail info@univp.co.jp

<https://www.univp.co.jp>

東京を中心に 実績60年！ 測量のことなら何でもお任せください！

トプコン認定資格取得の弊社技術者が親切かつ丁寧にサポート！
高性能機種利用で、お客様のニーズに合わせた観測方法を選べます！

現場に寄り添う、GNSS・3Dの総合測量サポート

GNSSレンタル

現地踏査から帳票出力まで
ワンストップでサポート

大規模な基準点測量にも、
迅速かつ的確に対応します

座標付け1点からでも、
喜んでお受けいたします！

3Dレンタル

現地踏査から3D実測・
点群生成まで一貫サポート

山間部や市街地など、現場に
最適な機材をご提案

迅速・丁寧・円滑な
3D観測をサポートします！



JSIMA 認定事業者認定番号 J1301025

コノエ製品 東日本地区総販売元

古物商許可証 東京都公安委員会第 303330906669号



STONEX

本社 本社営業部（東京営業1課・東京営業2課・東関東営業課・特販営業係）/ システムサポート課 / 仕入業務係

〒151-0061 東京都渋谷区初台2-11-8 TEL 03-5350-0671 (FAX)03-5350-0678

横浜支店

〒220-0074 神奈川県横浜市西区南浅間町19-1
TEL 045-312-1368 (FAX)045-312-0875

厚木営業所

〒243-0036 神奈川県厚木市長谷1701
TEL 046-249-6121 (FAX)046-249-6122

埼玉営業所

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻8-23-20 1-A号室
TEL 048-872-2581 (FAX)048-872-2582

山梨営業所

〒400-0851 山梨県甲府市住吉3-25-3
TEL 055-225-5035 (FAX)055-225-5036

YSS

〒243-0036 神奈川県厚木市長谷1701
TEL 046-249-6163 (FAX)046-249-6164

〔明日の測量・設計業界に奉仕する〕
YAMASHITA 山下商事株式会社
<https://www.s-ys.co.jp/>